

参考付表

国民経済及び森林資源

1 林業関係基本指標

項目	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
① 国内総生産(名目)	億円	5,354,177	5,325,156	5,055,306	5,380,323	5,443,646	5,530,730	5,561,896	5,612,670
林業	億円	1,760	1,367	1,964	2,340	2,387	2,426	2,491	2,499
林業/総生産	%	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
② 就業者総数	万人	6,446	6,356	6,257	6,401	6,465	6,530	6,664	6,724
林業	万人	7	6	8	7	6	6	7	8
林業/総就業	%	0.11	0.09	0.13	0.11	0.09	0.09	0.11	0.12
③ 国土面積	万ha	3,779	3,779	3,780	3,780	3,780	3,780	3,780	3,780
④ 森林面積	万ha	2,515	2,512	2,510	2,508	2,508	2,505	2,505	2,505
森林/国土	%	67.5	67.4	67.3	67.3	67.3	67.2	67.2	67.2
⑤ 保安林面積	万ha	893	1,165	1,202	1,217	1,218	1,220	1,221	1,223
保安林/森林	%	35.5	46.4	47.9	48.5	48.6	48.7	48.7	48.8
⑥ 森林蓄積	億m ³	35	40	44	49	49	52	52	52
⑦ 木材需要(供給)量	万m ³	10,101	8,742	7,188	7,516	7,808	8,185	8,248	8,191
国内生産量	万m ³	1,906	1,790	1,892	2,492	2,714	2,966	3,020	3,099
輸入量	万m ³	8,195	6,952	5,296	5,024	5,094	5,219	5,228	5,092
木材自給率	%	18.9	20.5	26.3	33.2	34.8	36.2	36.6	37.8
⑧ 新設住宅着工戸数	万戸	123	124	81	91	97	96	94	91
木造率	%	45.2	43.9	56.6	55.5	56.5	56.5	57.2	57.8

注1：国土面積には北方四島の面積が含まれる。森林面積には北方四島の面積は含めていない。

2：森林/国土の割合における国土面積には、北方四島を含めていない。

3：保安林面積は、実面積の数値。

4：木材需要(供給)量、国内生産量及び輸入量は、丸太換算の数値。

資料：①内閣府「国民経済計算」、②総務省「労働力調査年報」、③国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、④⑤⑥林野庁業務資料、⑦林野庁「木材需給表」、⑧国土交通省「住宅着工統計」

2 林業産出額

(単位：千万円)

項目	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
林業産出額	53,115	41,705	42,570	45,447	47,026	48,634	50,203	49,763
木材生産	32,218	21,050	19,529	23,408	23,700	25,609	26,483	27,000
針葉樹	26,533	17,741	17,016	19,819	19,539	20,606	20,999	21,301
すだ	12,378	8,753	9,350	11,809	11,674	12,268	12,644	12,743
広葉樹	5,472	3,171	2,376	1,951	1,906	1,840	1,842	1,695
薪炭生産	616	609	508	531	549	544	554	581
栽培きのご類生産	19,689	19,850	21,891	21,052	22,139	22,008	22,566	21,702
林野副産物採取	592	196	642	455	638	474	599	480
生産林業所得	35,191	24,578	22,922	25,102	26,011	26,954	26,659	26,452

注1：計の不一致は四捨五入による。

2：木材生産は、平成23(2011)年以降は燃料用チップ素材の産出額を含む。

3：薪炭生産は、平成13(2001)年以降は竹炭及び粉炭の産出額を含む。

4：栽培きのご類生産は、平成13(2001)年以降はエリンギ及びその他栽培きのご類の産出額を含む。

5：林野副産物採取は、平成14(2002)年以降はもろろ及び生うるしの産出額を、平成22(2010)年以降は野草の産出額を、平成28(2016)年以降は野生鳥獣の産出額を含む。

資料：農林水産省「林業産出額」

3 我が国の森林資源の現況

(単位：千ha、万m³)

区分	総数		立木地				無立木地		竹林面積
	面積	蓄積	人工林		天然林		面積	蓄積	
総数	25,048	524,150	10,204	330,842	13,481	193,245	1,197	64	167
国有林	7,659	122,593	2,288	51,304	4,733	71,245	637	44	0
林野庁所管	7,593	122,072	2,282	51,203	4,682	70,824	629	44	0
官行造林	7,508	120,128	2,208	49,283	4,680	70,801	620	44	0
対象外森林	85	1,944	73	1,921	2	23	10	0	-
その他省庁所管	0	0	-	-	-	-	0	0	-
民有林	65	521	7	100	51	420	8	-	0
総数	17,389	401,557	7,916	279,538	8,747	122,000	560	19	167
公有林	2,995	61,556	1,334	39,705	1,531	21,836	124	15	6
都道府県	1,292	25,269	529	14,559	709	10,701	53	9	1
市町村・財産区	1,702	36,287	804	25,147	822	11,135	71	6	5
私有林	14,347	339,433	6,569	239,555	7,188	99,874	431	4	158
対象外森林	48	568	13	278	28	290	5	0	3

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。

2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

3：対象外森林とは、森林法第5条に基づく地域森林計画及び同法第7条の2に基づく国有林の地域別の森林計画の対象となっている森林以外の森林をいう。

4：平成29(2017)年3月31日現在の数値。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

4 都道府県別森林面積

(単位：千ha)

都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林	都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林
全 国	25,048	10,204	13,481	1,197	167	三 重	372	230	133	7	2
北 海 道	5,538	1,475	3,755	308	—	滋 賀	203	85	111	6	1
青 森	633	269	337	26	—	京 都	342	132	200	5	5
岩 手	1,171	489	612	70	0	大 阪	57	28	26	2	2
宮 城	417	198	201	16	2	兵 庫	560	238	306	12	3
秋 田	839	410	406	24	0	奈 良	284	172	107	3	1
山 形	669	186	441	43	0	和 歌 山	361	220	136	4	1
福 島	974	341	584	47	1	鳥 取	259	140	110	5	3
茨 城	187	111	67	6	2	島 根	524	205	298	10	11
栃 木	349	156	180	13	1	岡 山	483	205	261	12	5
群 馬	423	177	220	25	1	広 島	611	201	396	12	2
埼 玉	120	59	59	1	0	山 口	437	195	225	5	12
千 葉	157	61	74	16	6	徳 島	315	190	116	5	4
東 京	79	35	39	5	0	香 川	88	23	58	3	3
神 奈 川	95	36	54	4	1	愛 媛	401	245	141	11	4
新 潟	855	162	564	127	2	高 知	595	388	195	7	5
富 山	285	55	169	61	1	福 岡	222	140	62	7	14
石 川	286	102	165	17	2	佐 賀	110	74	27	7	3
福 井	312	124	178	8	1	長 崎	243	105	124	10	4
山 梨	348	154	172	21	1	熊 本	463	280	149	23	10
長 野	1,069	445	557	66	2	大 分	453	233	178	27	14
岐 阜	862	385	430	46	1	宮 崎	586	333	231	16	6
静 岡	497	280	189	23	4	鹿 児 島	588	279	276	16	18
愛 知	218	140	72	3	2	沖 縄	107	12	88	6	0

- 注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。
 2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。
 3：平成29(2017)年3月31日現在の数値。
 4：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

5 人工造林面積

(単位：ha)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
総 数		35,908	28,576	24,128	25,173	27,050	30,212	30,182	33,404
民 有 林	民 有 林 計	31,316	25,584	18,756	19,429	21,106	22,069	21,568	22,788
	私 営	15,292	14,325	12,041	12,775	13,908	14,596	14,236	15,139
	公 営 計	16,024	11,259	6,715	6,653	7,198	7,474	7,332	7,648
	森林整備法人等	2,193	464	282	167	245	225	260	217
	森林研究・整備機構	6,643	5,202	2,416	2,681	2,841	3,132	3,018	3,248
	市 町 村	2,832	1,950	1,551	1,867	1,960	1,943	1,888	2,053
	都 道 府 県	4,356	3,643	2,466	1,938	2,152	2,173	2,167	2,131
国 有 林	4,592	2,992	5,372	5,745	5,944	8,143	8,614	10,616	

- 注1：国有林には、林野庁所管以外の国有林は含まない。
 2：森林整備法人等とは、森林整備法人及び林業公社である。
 3：人工造林面積は、治山事業や自力等によるものを含む面積であり、育成複層林施業(人工林)における樹下植栽等(改良を除く)の面積も含まれている。
 4：森林研究・整備機構によるものは、平成20(2008)年4月1日までは独立行政法人緑資源機構、平成29(2017)年4月1日までは国立研究開発法人森林総合研究所によるものである。
 5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料



6 樹種別人工造林面積

(単位：ha)

	総 数	針 葉 樹					広 葉 樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他	
H12(2000)年	(31,316) 28,480	(8,223) 7,967	(11,574) 10,745	(233) 223	(2,524) 2,493	(4,954) 4,014	(3,808) 3,038
17 (05)	(25,584) 22,498	(5,216) 5,011	(7,096) 6,307	(226) 183	(3,534) 3,423	(5,728) 4,611	(3,784) 2,963
22 (10)	(18,756) 16,388	(4,132) 3,844	(2,820) 2,262	(247) 237	(4,604) 4,418	(4,265) 3,381	(2,688) 2,246
27 (15)	(19,429) 16,607	(5,537) 5,390	(2,039) 1,930	(185) 168	(4,467) 4,027	(5,250) 3,450	(1,950) 1,642
28 (16)	(21,106) 18,390	(6,766) 6,570	(1,972) 1,852	(291) 253	(5,017) 4,552	(4,983) 3,383	(2,077) 1,781
29 (17)	(22,069) 19,866	(7,102) 6,845	(1,979) 1,874	(406) 388	(5,388) 5,179	(5,423) 4,110	(1,771) 1,471
30 (18)	(21,568) 19,340	(6,899) 6,597	(1,845) 1,760	(277) 272	(5,486) 5,165	(5,106) 3,799	(1,956) 1,747
R1 (19)	(22,788) 20,562	(7,189) 7,005	(1,821) 1,745	(311) 308	(6,466) 6,139	(5,046) 3,692	(1,954) 1,673

注1：民有林の樹種別人工造林面積であり、国有林は含まない。
 2：上段()内は、育成複層林施業における樹下植栽等を含む面積である。
 資料：林野庁業務資料

7 山行苗木生産量

(単位：百万本)

	総 数	針 葉 樹					広 葉 樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他	
H22(2010)年	63 (0.3)	17 (0.2)	12 (0.0)	2 (0.0)	12 (0.0)	12 (0.0)	8 (0.0)
23 (11)	61 (0.4)	15 (0.3)	11 (0.1)	1 (0.0)	12 (0.0)	14 (0.0)	7 (0.0)
24 (12)	58 (0.8)	17 (0.5)	9 (0.1)	2 (0.2)	10 (0.0)	11 (0.0)	8 (0.0)
25 (13)	56 (1.1)	16 (0.7)	9 (0.2)	2 (0.2)	10 (0.1)	11 (0.0)	8 (0.0)
26 (14)	57 (2.6)	17 (1.1)	9 (0.3)	2 (0.9)	9 (0.1)	11 (0.1)	8 (0.0)
27 (15)	61 (4.7)	19 (2.4)	9 (0.8)	2 (1.2)	12 (0.2)	12 (0.1)	6 (0.0)
28 (16)	60 (7.1)	20 (3.9)	8 (1.1)	3 (1.6)	14 (0.4)	10 (0.2)	5 (0.0)
29 (17)	60 (10.0)	22 (6.2)	8 (1.3)	3 (1.3)	12 (0.8)	10 (0.3)	5 (0.1)
30 (18)	60 (13.7)	21 (7.5)	6 (1.8)	3 (2.2)	15 (1.7)	9 (0.5)	5 (0.1)
R1 (19)	61 (19.0)	25 (11.1)	7 (2.2)	2 (1.6)	16 (3.2)	8 (0.7)	5 (0.1)

注1：端数処理のため、計数が合致しない場合がある。
 2：下段()内は、山行苗木生産量のうちコンテナ苗木生産量である。
 資料：林野庁業務資料

8 人工林の齢級別面積

(単位：千ha)

	1 齢級	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
S60年 (1985)	604	895	1,263	1,691	1,762	1,569	947	337	240	205	178	137	111	83	148					
H1 (89)	436	700	943	1,351	1,691	1,746	1,413	777	270	224	183	151	118	93	79	52	62			
6 (94)	278	421	699	937	1,336	1,686	1,719	1,388	735	262	213	172	139	112	86	67	105			
13 (2001)	131	226	350	589	874	1,149	1,599	1,677	1,522	946	353	204	171	144	112	89	62	52	70	
18 (06)	88	168	227	352	593	873	1,143	1,582	1,649	1,500	918	345	200	168	141	106	90	62	120	
23 (11)	73	114	159	231	347	584	852	1,111	1,565	1,631	1,473	921	345	194	164	138	105	87	174	
28 (16)	68	102	114	164	224	348	582	846	1,108	1,529	1,592	1,428	893	340	190	162	135	104	86	172

注1：数値は各年度末のものである。
 2：昭和60(1985)年は15齢級を、平成元(1989)年、6(1994)年は17齢級を、平成13(2001)年、18(2006)年、23(2011)年は19齢級を、28(2016)年は20齢級を最大齢級としており、それ以上の齢級は最大齢級にまとめている。
 3：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の「立木地」の面積。
 資料：林野庁業務資料

森林の整備及び保全

9 間伐実績及び間伐材の利用状況

	間伐実績(千ha)			間伐材利用量(万m ³)					
	計	民有林	国有林	計	民有林			国有林	
H22(2010)年度	556	445	110	665	443	270	42	131	222
23 (11)	552	437	115	711	486	288	40	158	225
24 (12)	488	368	121	759	521	300	36	186	238
25 (13)	521	400	121	811	565	323	44	197	246
26 (14)	465	339	126	769	521	291	33	197	247
27 (15)	452	341	112	813	565	297	35	232	248
28 (16)	440	319	121	823	576	295	30	251	247
29 (17)	410	304	106	812	556	275	28	253	256
30 (18)	370	269	101	746	494	237	25	232	252
R1 (19)	365	268	98	768	521	253	30	237	247

注1：間伐実績は、森林吸収源対策の実績として把握した数値である。

2：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。

3：製材とは、建築材、梱包材等である。

4：丸太とは、足場丸太、支柱等である。

5：原材料とは、木材チップ、おが粉等である。

6：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

10 林道開設(新設)量

(単位：km)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
民有林 林道	一般林道	714	387	224	153	147	136	127	116
	道整備交付金	...	15	80	67	55	48	42	38
	農免	3	1
	森林総合研究所	39	13
	林業構造改善	54	6
	山村振興	8	1
	その他	14	1	0	0	0	0	0	...
	小計	832	425	305	221	202	183	169	155
	県単独補助	199	76	29	13	12	8	6	7
	計	1,031	501	334	234	214	192	175	162
融自	0	0	
資力林道	57	12	3	3	3	1	0	1	
合計	1,088	513	337	238	217	193	175	162	
国有林林道	99	138	97	175	147	163	129	131	
総計	1,187	651	434	413	364	356	305	294	
林道舗装実績	1,340	567	751	230	179	167	236	128	

注1：各年度末の新設延長。

2：計の不一致は四捨五入による。

3：森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

資料：林野庁業務資料

11 保安林の種類別面積

(単位：千ha)

区分	合計	国有林	民有林
水源かん養保安林	9,235	5,701	3,535
土砂流出防備保安林	2,606	1,079	1,527
土砂崩壊防備保安林	60	20	41
飛砂防備保安林	16	4	12
防風保安林	56	23	33
水害防備保安林	1	0	1
潮害防備保安林	14	5	9
干害防備保安林	126	50	76
防雪保安林	0	-	0
防霧保安林	62	9	53
なだれ防止保安林	19	5	14
落石防止保安林	3	0	2
防火保安林	0	0	0
魚つき保安林	60	8	52
航行目標保安林	1	1	0
保健保安林	704	360	345
風致保安林	28	13	15
合計	12,991	7,276	5,715
(実面積)	12,230	6,918	5,312

注1：令和2(2020)年3月31日現在の数値。

2：同一箇所でも2種類以上の保安林に指定されている場合、それぞれの保安林に計上している。

3：国有林には、林野庁所管以外の国有林を含む。

4：当該保安林種が存在しない場合は「-」、当該保安林種が存在しても面積が0.5千ha未満の場合は「0」と表示。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料



12 気象災害、林野火災

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
気象災害	被害面積 (ha)	14,645	2,516	2,087	5,686	14,575	3,766	3,985	1,952
	風害	3,402	364	23	3,858	12,879	907	3,233	1,022
	水害	2,633	526	208	39	482	686	198	81
	雪害	1,863	920	1,440	1,414	383	1,412	111	27
	干害	6,161	656	342	319	155	617	228	449
	凍害	585	48	73	57	676	144	216	90
	潮・雹害	…	3	…	…	…	…	…	282
林野火災	出火件数 (件)	2,805	2,215	1,392	1,106	1,027	1,284	1,363	1,391
	焼損面積 (ha)	1,455	1,116	755	538	384	938	606	837
	被害額 (億円)	7	9	1	3	2	9	2	3

注1：気象災害は、私・公有林の被害である。
 2：林野火災は、私・公、国有林(林野庁所管外も含む。)の被害である。
 資料：林野庁業務資料、消防庁業務統計

13 森林保険事業実績

	年度末契約保有高			損害補填補償額			
	件数 (件)	面積 (千ha)	責任保険金額 (百万円)	件数 (件)	面積 (ha)	損害額 (百万円)	支払額 (百万円)
H12(2000)年度	137,479	1,203	863,007	7,884	2,502	3,587	1,374
17 (05)	184,670	1,296	1,345,535	7,543	2,161	3,622	2,246
22 (10)	135,861	969	965,327	2,419	611	938	456
27 (15)	108,859	742	807,708	1,956	872	1,508	587
28 (16)	102,161	704	769,831	2,077	876	1,709	737
29 (17)	97,525	673	741,946	1,779	729	1,504	591
30 (18)	93,253	652	718,837	1,865	883	1,468	701
R1 (19)	89,011	615	683,338	1,467	495	876	394

注：平成26(2014)年度までは森林国営保険によるもの、平成27(2015)年度以降は国立研究開発法人森林研究・整備機構(平成27(2015)年度及び平成28(2016)年度は、国立研究開発法人森林総合研究所)が行う森林保険によるものである。
 資料：平成26(2014)年度までは林野庁業務資料、平成27(2015)年度以降は国立研究開発法人森林研究・整備機構(平成27(2015)年度及び平成28(2016)年度は、国立研究開発法人森林総合研究所)調べ。

14 野生動物による森林被害

(単位：千ha)

	合計	サル	ノネズミ	ノウサギ	カモシカ	シカ	イノシシ	クマ
H12(2000)年度	8.2	0.7	0.3	0.6	1.0	4.6	0.5	0.6
17 (05)	5.8	0.0	0.3	0.3	0.8	3.5	0.4	0.4
22 (10)	6.2	0.0	0.4	0.1	0.3	4.0	0.2	1.2
27 (15)	7.9	0.0	0.7	0.1	0.3	6.0	0.1	0.7
28 (16)	7.1	0.0	0.5	0.1	0.3	5.6	0.1	0.6
29 (17)	6.4	0.0	0.6	0.1	0.3	4.7	0.1	0.6
30 (18)	5.9	0.0	0.7	0.1	0.2	4.2	0.1	0.6
R1 (19)	4.9	0.0	0.6	0.1	0.2	3.5	0.1	0.4

注1：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。
 2：森林及び苗畑の被害。
 3：東日本大震災の影響により、平成22(2010)年度については未計上の県がある。
 資料：林野庁業務資料

15 森林・林業に関する専門技術者

(単位：人)

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	2 (20)
技術士(森林部門)	555	711	960	1,260	1,340	1,398	1,465	1,535	1,554
林業技士	8,024	9,322	11,341	12,983	13,240	13,448	13,700	13,932	14,115
森林総合監理士	…	…	…	717	982	1,169	1,274	1,397	1,477
森林インストラクター	1,132	2,261	2,926	3,104	3,099	3,112	3,135	3,091	3,085
樹木医	778	1,332	1,909	2,464	2,562	2,661	2,749	2,834	2,826
認定森林施業プランナー	…	…	…	1,483	1,725	1,933	2,133	2,299	2,405

注1：技術士(森林部門)：技術士法に基づく資格(21部門のうち森林部門)を有し、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者。数値は毎年度3月末現在のもの。

2：林業技士：一般社団法人日本森林技術協会が認定する資格を有し、森林土木等の技術的業務に関する専門知識の実践を行う者。数値は毎年度4月1日現在の延べ認定者数。

3：森林総合監理士：林業普及指導員資格試験の地域森林総合監理区分に合格し、市町村等へ技術的支援を行う者。数値は毎年度3月末現在のもの。

4：森林インストラクター：一般社団法人全国森林レクリエーション協会が認定する資格を有し、一般の人々に、森林や林業に関する知識の提供、森林の案内、森林内での野外活動の指導等を行う者。令和2(2020)年度は、令和3(2021)年2月末現在の数値。

5：樹木医：一般財団法人日本緑化センターが認定する資格を有し、「ふるさとのシンボル」として親しまれている巨樹・古木林等の保護や樹勢回復・治療等を行う者。令和2(2020)年度は、令和2(2020)年12月1日現在の数値。

6：認定森林施業プランナー：森林所有者に施業方針や収支等を提示して施業の実施を働き掛けて集約化し、提案型集約化施業を担う者。令和2(2020)年度は、令和3(2021)年3月末現在の数値。

資料：林野庁業務資料、技術士は公益社団法人日本技術士会、林業技士は一般社団法人日本森林技術協会、認定森林施業プランナーは森林施業プランナー協会調べ。

16 林業普及指導職員等の数

(単位：人)

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	2 (20)
林業専門技術員(SP)	336	…	…	…	…	…	…	…	…
林業改良指導員(AG)	1,862	…	…	…	…	…	…	…	…
林業普及指導員	…	1,811	1,398	1,304	1,310	1,287	1,288	1,283	1,264
計	2,198	1,811	1,398	1,304	1,310	1,287	1,288	1,283	1,264

注：平成17(2005)年度の制度改正により、林業専門技術員と林業改良指導員の2つの資格を「林業普及指導員」に一元化している。

資料：林野庁業務資料

17 森林・林業関係の教育機関数

区分	学校数
森林・林業関係学科(科目)をもつ 高等学校	72
森林・林業関係学科(科目)をもつ 大学	32
森林・林業関係学科(科目)をもつ 都道府県立農林大学校等	19

注：令和2(2020)年4月現在の数値。

資料：林野庁業務資料



林業

18 所有形態別林野面積(民有)

	H27(2015)年		R2(2020)年	
	所有林野面積(ha)	比率(%)	所有林野面積(ha)	比率(%)
総数	17,626,761	100.0	17,616,828	100.0
私有	13,563,827	77.0	13,560,059	77.0
公有	3,370,380	19.1	3,408,740	19.3
都道府県	1,271,571	7.2	1,310,110	7.4
森林整備法人	391,189	2.2	351,481	2.0
市区町村	1,406,063	8.0	1,435,718	8.1
財産区	301,557	1.7	311,431	1.8
独立行政法人等	692,554	3.9	648,029	3.7

注1：計の不一致は四捨五入による。
 2：独立行政法人等とは、独立行政法人、国立大学法人、特殊法人が所有しているものである。
 資料：農林水産省「農林業センサス」

19 林業経営体数及び保有山林面積

(単位：経営体、ha)

	合計		3ha未満		3~5ha		5~20ha		20~50ha		50~100ha		100ha以上	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
総数	87,284	4,373,374	(1,257) 2,247	1,170	23,767	85,988	41,885	389,986	12,193	348,521	3,572	235,747	3,620	3,311,962
法人経営	5,599	1,470,626	1,065	237	397	1,495	1,315	14,029	894	27,849	658	45,473	1,270	1,381,544
農事組合法人	145	9,226	10	1	16	60	50	472	23	650	17	1,176	29	6,868
会社	2,456	774,282	707	144	193	706	538	5,481	333	9,838	196	12,829	489	745,285
各種団体	2,337	497,968	304	85	109	425	480	5,559	448	14,529	379	26,598	617	450,772
農協	87	19,669	-	-	4	16	9	101	21	779	14	1,041	39	17,732
森林組合	1,819	304,008	263	83	74	287	342	4,083	341	11,085	317	22,336	482	266,135
その他の各種団体	431	174,291	41	2	31	123	129	1,376	86	2,665	48	3,221	96	166,905
その他の法人	661	189,150	44	7	79	304	247	2,518	90	2,832	66	4,871	135	178,619
法人でない経営	80,396	1,349,519	1,181	933	23,329	84,334	40,417	374,113	11,129	315,103	2,768	180,050	1,572	394,985
個人経営体	77,692	1,215,213	1,073	901	22,922	82,773	39,327	362,792	10,575	298,201	2,494	160,726	1,301	309,821
地方公共団体・財産区	1,289	1,553,229	1	-	41	159	153	1,844	170	5,570	146	10,224	778	1,535,432

注1：()内は保有山林のない経営体数で内数。
 2：「-」は事実のないもの。
 3：林業経営体とは、①保有山林面積が3ha以上かつ過去5年間に林業作業を行うか森林経営計画又は森林施業計画を作成している、②委託を受けて育林を行っている、③委託や立木の購入により過去1年間に200㎡以上の素材生産を行っている、のいずれかに該当する者である。
 資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

20 林業経営体(林家)の林業経営

項目	単位	H16年度(2004)平均	17(05)平均	18(06)平均	19(07)平均	20(08)平均	25(13)平均	30(18)平均	保有山林規模別(ha)			
									20-50	50-100	100-500	500-
									林業粗収益	千円	2,497	2,396
立木販売収入	〃	300	266	409	275	206	233	207	140	122	575	2,256
素材生産収入	〃	1,786	1,667	1,635	1,246	1,041	1,744	2,144	1,126	3,212	4,775	8,973
その他	〃	412	464	559	383	537	507	1,429	902	2,215	2,453	3,186
林業経営費	千円	2,081	2,109	2,125	1,613	1,681	2,371	2,742	1,497	4,235	5,640	9,781
雇用労賃	〃	379	339	345	270	300	300	306	168	640	272	1,056
原木費	〃	230	248	308	125	130	112	298	116	849	91	495
機械修繕費	〃	201	208	209	117	169	279	465	362	683	488	1,226
賃借料・料金	〃	202	195	194	174	150	192	185	95	249	427	1,367
請負わせ料金	〃	613	707	626	539	557	982	1,065	502	1,092	3,810	3,566
その他	〃	455	409	443	389	375	506	423	254	722	552	2,071
林業所得	千円	417	287	478	291	103	113	1,038	671	1,314	2,163	4,634
投下労働量	時間	698	609	632	571	536	645	807	702	1,031	824	1,348
家族	〃	496	426	447	422	380	447	653	614	745	664	407
雇用労働	〃	202	183	185	149	156	198	154	88	286	160	941

注1：数値は1経営体当たりの数値である。
 2：調査の対象は、平成25年度調査において保有山林面積が20~50haの経営体は世帯員等による30日以上の施業労働日数を要件としたが、平成30年調査では保有山林面積20ha以上で世帯員等による30日以上の施業労働日数を要件としたほか、30日未満であっても、(a)主伐面積1ha以上、(b)植林又は利用間伐面積が2ha以上、(c)保育面積5ha以上のいずれかに該当する経営体を対象とした。このため平成25(2013)年度以前の調査と平成30年調査は接続しない。
 3：林業粗収益＝現金収入＋林産物の林業外仕向額＋林産物の在庫増加(減少)額
 4：林業粗収益のその他とは、特用林産物収入や受託収入等である。なお、平成30年調査より林業粗収益に造林補助金を含めた。
 5：林業経営費＝現金支出＋減価償却費＋処分差損益＋生産資材の在庫減少(増加)額
 6：雇用労賃には、労働災害保険を含む。
 7：林業経営費のその他とは、種苗費、肥料費、薬剤費、諸材料費、器具費、建物維持費、企画管理費、負債利子、租税公課諸負担等である。
 8：林業所得＝林業粗収益－林業経営費
 9：計の不一致は四捨五入による。
 10：平成19(2007)年度・20(2008)年度の結果のうち、減価償却費については、平成19(2007)年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえて算出した。
 資料：農林水産省「林業経営統計調査報告」

21 林業機械の普及台数

(単位：台)

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	対前年	
									増減率(%)	
高性能林業機械	フェラーパンチャ	42	25	85	145	156	166	166	3.1	
	ハーベスタ	379	442	836	1,521	1,572	1,757	1,849	3.7	
	プロセッサ	854	1,002	1,312	1,802	1,851	1,985	2,069	4.2	
	スキッダ	164	163	141	126	118	123	115	▲3.5	
	フォワーダ	509	722	1,213	2,171	2,328	2,474	2,650	5.1	
	タワーヤード	190	174	148	152	151	150	152	▲2.0	
	スイングヤード	134	340	708	959	1,012	1,059	1,082	1.2	
	その他の高性能林業機械	13	41	228	810	1,014	1,225	1,581	16.4	
小計	2,285	2,909	4,671	7,686	8,202	8,939	9,659	10,218	5.8	
在来型林業機械	大型集材機	8,013	6,009	5,042	3,951	3,774	3,493	3,295	3,019	▲8.4
	小型集材機	7,525	5,460	4,276	3,103	2,893	2,631	2,359	2,108	▲10.6
	チェーンソー	300,300	245,998	211,869	170,361	157,197	130,544	123,031	110,158	▲10.5
	刈払機	350,765	298,718	243,468	186,528	167,232	134,860	126,427	107,615	▲14.9
	トラクタ	3,290	2,630	2,039	1,486	1,460	1,299	1,265	1,208	▲4.5
	運材車	22,238	18,083	14,024	11,477	10,750	8,818	8,622	8,378	▲2.8
	モノレール	981	859	793	657	578	611	560	568	1.4
	動力枝打機	12,695	10,077	7,465	5,182	4,725	3,792	3,422	3,035	▲11.3
	自走式搬器	1,991	1,757	1,563	1,342	1,240	1,147	1,134	1,063	▲6.3

注1：国有林野事業で所有する林業機械を除く。

2：「その他の高性能林業機械」に計上されている機械の種類は、主にフォーク収納型グラブパケット及びフェリングヘッド付きフォーク収納型グラブパケットである。

資料：林野庁業務資料

22 総人口及び就業者数

(単位：万人)

	総人口	就業者数				うち雇用量				
		全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	うち 製造業
H12(2000)年	12,688	6,446	297	7	6,150	5,356	34	4	5,322	1,205
17(05)	12,766	6,356	259	6	6,097	5,393	36	4	5,356	1,059
22(10)	12,739	6,257	234	8	6,023	5,463	53	6	5,410	996
27(15)	12,705	6,401	209	7	6,193	5,663	53	6	5,610	988
28(16)	12,694	6,465	203	6	6,262	5,750	54	5	5,696	999
29(17)	12,673	6,530	201	6	6,330	5,819	57	5	5,762	1,006
30(18)	12,648	6,664	210	7	6,454	5,936	58	6	5,877	1,014
R1(19)	12,619	6,724	207	8	6,517	6,004	61	7	5,943	1,016

注1：日本標準産業分類の改定に伴い、平成15(2003)年以降の製造業の結果は平成14(2002)年以前の結果と時系列接続していない。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

資料：総務省「労働力調査年報」

23 産業別、年齢階層別就業者数

(単位：万人)

	総数	15歳～ 19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳 以上
全産業	6,724	119	461	539	571	639	762	847	732	632	530	892
農林業	200	1	3	5	7	9	10	11	12	14	21	106
林業	8	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2
鉱業、採石業、砂利採取業	2	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	499	4	23	31	35	47	60	70	54	46	48	82
製造業	1,063	11	63	91	99	113	130	149	131	105	77	94
その他	4,952	103	372	412	430	469	561	616	534	466	383	608

注1：令和元(2019)年の平均値。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

資料：総務省「労働力調査年報」(令和元(2019)年)

24 林業への新規就業者の就業先

(単位：人)

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
総数	2,314	2,843	4,014	3,204	3,055	3,114	2,984	2,855
民間事業体	864	1,149	2,296	2,005	2,051	2,108	2,059	1,959
森林組合	1,450	1,694	1,718	1,199	1,004	1,006	925	896

資料：林野庁業務資料



25 林業労働者の賃金

(単位：円/日)

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
造 林	12,082	11,795	11,728	12,237	12,591	12,709	13,039	13,260
伐 出	13,648	13,119	12,921	13,197	13,442	13,655	13,974	14,139

注：全国農業会議所が作成した調査票に基づき、都道府県農業会議の指導の下、市町村農業委員会が行った調査であり、農外諸賃金のうち都道府県別平均の造林(新植、撫育作業)、伐出を抜粋したものである。

資料：全国農業会議所「農作業料金・農業労賃に関する調査結果」

26 労働災害の発生率

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
全 産 業	2.8	2.4	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.2
死傷年千人率								
林 業	28.7	26.8	28.6	27.0	31.2	32.9	22.4	20.8
木材・木製品製造業	11.5	9.9	7.4	11.2	11.0	9.9	10.9	10.6
建設業	6.3	5.8	4.9	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5
製造業	3.6	3.3	2.6	2.8	2.7	2.7	2.8	2.7
鉱 業	17.4	18.8	13.9	7.0	9.2	7.0	10.7	10.2

注：死傷年千人率とは、1,000人当たり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したものの。

(死傷年千人率=1年間の死傷者数(休業4日以上)÷1年間の平均労働者数×1,000)

平成24(2012)年より千人率の計算に用いる資料が「労働者災害補償保険事業年報」及び「労災保険給付データ」から「労働者死傷病報告書」及び「労働力調査」に変更されている。

資料：厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」

27 森林組合の事業活動等

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	対前年 増減率(%)
森 林 組 合 数 (A)	1,174	846	679	629	624	621	617	▲ 0.6
組 合 員 数 (千人)	1,669	1,618	1,567	1,531	1,525	1,512	1,503	▲ 0.6
1組合当たり払込済出資金(千円)	42,206	61,261	78,418	86,286	87,346	87,570	87,997	0.5
主 要 新 植 面 積 (ha)	25,433	18,722	15,268	15,323	15,085	15,829	16,870	6.6
事業量丸太生産量(千m)	2,835	2,818	3,612	5,433	5,674	6,146	6,513	6.0

資料：林野庁「森林組合統計」

28 森林組合の主要事業別の取扱高

(単位：百万円)

	販売・林産	加 工	購 買	森林整備	そ の 他	合 計
H12(2000)年度	77,555	40,441	16,434	167,376	40,325	342,131
17 (05)	57,190	34,290	12,221	111,287	40,685	255,673
22 (10)	67,371	32,988	10,832	114,020	45,449	270,661
27 (15)	91,224	33,848	9,183	94,954	41,077	270,286
28 (16)	95,154	35,190	9,010	89,367	40,742	269,463
29 (17)	98,684	34,152	9,019	90,878	39,315	272,048
30 (18)	103,034	34,112	8,646	87,222	38,037	271,051

資料：林野庁「森林組合統計」

31 木材需要(供給)量(丸太換算)

(単位：千m³)

	総需要(供給)量				部門別用材需要量				形態別用材供給量		
	計	用材	燃料材(薪炭材)	しいたけ原木	製材用	バルブ・チップ用	合板用	その他用	国内生産	輸入丸太	輸入製品
S30 (1955)年	65,206	45,278	19,928	...	30,295	8,285	2,297	4,401	42,794	1,969	515
35 (60)	71,467	56,547	14,920	...	37,789	10,189	3,178	5,391	49,006	6,674	867
40 (65)	76,798	70,530	6,268	...	47,084	14,335	5,187	3,924	50,375	16,721	3,434
45 (70)	106,601	102,679	2,348	1,574	62,009	24,887	13,059	2,724	46,241	43,281	13,157
50 (75)	99,303	96,369	1,132	1,802	55,341	27,298	11,173	2,557	34,577	42,681	19,111
55 (80)	112,211	108,964	1,200	2,047	56,713	35,868	12,840	3,543	34,557	42,395	32,012
60 (85)	95,447	92,901	572	1,974	44,539	32,915	11,217	4,230	33,074	31,391	28,436
H2 (90)	113,242	111,162	517	1,563	53,887	41,344	14,546	1,385	29,369	33,861	47,932
7 (95)	113,698	111,922	721	1,055	50,384	44,922	14,314	2,302	22,916	25,865	63,141
12 (2000)	101,006	99,263	940	803	40,946	42,186	13,825	2,306	18,022	18,018	63,223
17 (05)	87,423	85,857	1,001	565	32,901	37,608	12,586	2,763	17,176	12,119	56,562
22 (10)	71,884	70,253	1,099	532	25,379	32,350	9,556	2,968	18,236	6,044	45,974
27 (15)	75,160	70,883	3,962	315	25,358	31,783	9,914	3,829	21,797	4,824	44,262
28 (16)	78,077	71,942	5,807	328	26,150	31,619	10,248	3,925	22,355	5,019	44,567
29 (17)	81,854	73,742	7,800	311	26,370	32,302	10,667	4,403	23,312	4,666	45,764
30 (18)	82,478	73,184	9,020	274	25,708	32,009	11,003	4,465	23,680	4,541	44,964
R1 (19)	81,905	71,269	10,386	251	25,270	31,061	10,474	4,464	23,805	4,118	43,346

注1：その他用には、輸出の丸太、改良木材、再生木材、加工材、枕木、のこくすを含む。

2：計の不一致は四捨五入による。

3：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25(2013)年以前については「薪炭材」の数量を、平成26(2014)年からは「燃料材」の数量を記載している。

資料：林野庁「木材供給表」

32 木材自給率の動向

(単位：千m³)

	H12年(2000)	17(05)	22(10)	27(15)	28(16)	29(17)	30(18)	R1(19)	対前年増減率(%)
総需要(供給)量	101,006	87,423	71,884	75,160	78,077	81,854	82,478	81,905	▲0.7
用材	99,263	85,857	70,253	70,883	71,942	73,742	73,184	71,269	▲2.6
燃料材(薪炭材)	940	1,001	1,099	3,962	5,807	7,800	9,020	10,386	15.1
しいたけ原木	803	565	532	315	328	311	274	251	▲8.4
国内生産	19,058	17,899	18,923	24,918	27,141	29,660	30,201	30,988	2.6
輸入	81,948	69,523	52,961	50,242	50,936	52,194	52,277	50,917	▲2.6
自給率(%)	18.9	20.5	26.3	33.2	34.8	36.2	36.6	37.8	1.2
計									
総需要量	99,263	85,857	70,253	70,883	71,942	73,742	73,184	71,269	▲2.6
国内生産	18,022	17,176	18,236	21,797	22,355	23,312	23,680	23,805	0.5
輸入	81,241	68,681	52,018	49,086	49,586	50,430	49,505	47,464	▲4.1
自給率(%)	18.2	20.0	26.0	30.8	31.1	31.6	32.4	33.4	1.0
製材用									
総需要量	40,946	32,901	25,379	25,358	26,150	26,370	25,708	25,270	▲1.7
国内生産	12,798	11,571	10,582	12,004	12,182	12,632	12,563	12,875	2.5
輸入	28,148	21,330	14,797	13,354	13,968	13,738	13,145	12,395	▲5.7
自給率(%)	31.3	35.2	41.7	47.3	46.6	47.9	48.9	51.0	2.1
バルブ・チップ用									
総需要量	(6,537)	(7,974)	(6,192)	(6,667)	(6,853)	(7,107)	(6,792)	(6,258)	▲0.7
国内生産	42,186	37,608	32,350	31,783	31,619	32,302	32,009	31,061	▲3.0
輸入	4,749	4,426	4,785	5,202	5,266	5,193	5,089	4,651	▲8.6
自給率(%)	37.437	33.181	27.565	26.581	26.353	27.110	26.920	26.410	▲1.9
その他用	11.3	11.8	14.8	16.4	16.7	16.1	15.9	15.0	▲0.9
合板用									
総需要量	13,825	12,586	9,556	9,914	10,248	10,667	11,003	10,474	▲4.8
国内生産	138	863	2,490	3,530	3,876	4,122	4,492	4,745	5.6
輸入	13,687	11,723	7,066	6,384	6,372	6,545	6,511	5,729	▲12.0
自給率(%)	1.0	6.9	26.1	35.6	37.8	38.6	40.8	45.3	4.5
その他用									
総需要量	2,306	2,763	2,968	3,829	3,925	4,403	4,465	4,464	▲0.0
国内生産	337	316	379	1,061	1,031	1,365	1,536	1,534	▲0.1
輸入	1,969	2,447	2,589	2,767	2,894	3,038	2,930	2,931	0.0
自給率(%)	14.6	11.4	12.8	27.7	26.3	31.0	34.4	34.4	0.0

注1：自給率＝国内生産量÷総需要量×100

2：その他用には、輸出の丸太、改良木材、再生木材、加工材、枕木、のこくすを含む。

3：()内は、製材工場等の残材及び解体材・廃材による木材チップで、外数。

4：計の不一致は四捨五入による。

5：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25(2013)年以前については「薪炭材」の数量を、平成26(2014)年からは「燃料材」の数量を記載している。

6：対前年増減率のうち、自給率における数値は、前年との差である。

資料：林野庁「木材供給表」

33 我が国への産地別木材(用材)供給量(丸太換算)

(単位：千m³、%)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	
輸 入 材	米 材	計	(28.9)	(18.8)	(19.2)	(17.5)	(17.2)	(16.8)	(16.3)	(15.3)
		米 国	28,700	16,129	13,506	12,415	12,377	12,352	11,898	10,893
		カ ナ ダ	14,460	6,844	5,838	6,057	6,083	6,233	6,273	5,754
		計	14,240	9,285	7,668	6,359	6,294	6,119	5,625	5,139
	南洋材	計	(13.7)	(12.2)	(8.9)	(8.3)	(7.7)	(7.8)	(7.4)	(6.9)
		マレーシア	13,569	10,511	6,287	5,848	5,525	5,751	5,421	4,949
		インドネシア	6,690	5,888	3,773	2,917	2,709	2,778	2,514	2,213
		その他	5,858	4,137	2,304	2,804	2,698	2,887	2,759	2,548
	北洋材	ロシア	1,021	486	209	127	117	85	148	187
		計	(7.5)	(8.6)	(3.3)	(2.9)	(3.3)	(3.3)	(3.3)	(3.5)
	欧州材	ヨーロッパ州	7,429	7,411	2,343	2,081	2,366	2,398	2,411	2,459
		計	(4.7)	(6.9)	(7.1)	(7.6)	(8.5)	(8.7)	(8.0)	(8.4)
	その 他の 輸入 材	ニュージーランド	4,675	5,937	4,967	5,374	6,135	6,450	5,880	5,974
		チ リ	(4.4)	(3.4)	(3.9)	(2.3)	(2.4)	(2.1)	(2.0)	(2.0)
		オーストラリア	4,374	2,878	2,720	1,638	1,749	1,545	1,484	1,393
		中 国	(3.8)	(4.6)	(6.7)	(5.6)	(5.9)	(5.7)	(5.5)	(4.9)
ベトナム		3,795	3,952	4,726	3,987	4,234	4,236	4,055	3,479	
その他		(8.7)	(10.2)	(11.0)	(6.6)	(5.7)	(6.4)	(6.3)	(6.0)	
計		8,604	8,729	7,722	4,662	4,067	4,684	4,604	4,271	
計		(2.5)	(3.0)	(3.0)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.6)	(2.5)	
その他	2,445	2,544	2,084	1,967	1,912	1,982	1,901	1,777		
	計	(7.7)	(12.3)	(10.9)	(8.0)	(8.7)	(8.3)	(8.1)	(8.2)	
	計	7,651	10,591	7,663	5,696	6,275	6,116	5,911	5,823	
	計	(81.8)	(80.0)	(74.0)	(69.2)	(68.9)	(68.4)	(67.6)	(66.6)	
	計	81,241	68,681	52,018	49,086	49,586	50,430	49,505	47,464	
国 産 材		(18.2)	(20.0)	(26.0)	(30.8)	(31.1)	(31.6)	(32.4)	(33.4)	
合 計		18,022	17,176	18,236	21,797	22,355	23,312	23,680	23,805	
		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	
		99,263	85,857	70,253	70,883	71,942	73,742	73,184	71,269	

注1：この表の数値は、国産丸太及び輸入丸太の供給量に、丸太材積に換算した輸入製材品、パルプ・チップ、合板等の値を加えて、各国別の供給量を算出したもの。

2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

4：「その他の輸入材」のその他とは、アフリカ諸国等からの輸入である。

5：ベトナムについては、平成26(2014)年以前は「その他の輸入材」のその他に含む。

6：計の不一致は四捨五入による。

7：()内は、合計に占める割合。

資料：林野庁「木材需給表」、財務省「貿易統計」を基に試算。

34 我が国への製材用木材供給量(丸太換算)

(単位：千m³)

産 地 ・ 国		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	
輸 入 製 材 品	米 材	計	8,233	5,187	4,266	3,635	3,483	3,417	3,207	2,726
		米 国	1,112	268	624	511	438	410	393	395
		カ ナ ダ	7,121	4,919	3,642	3,124	3,045	3,007	2,814	2,330
	南洋材	計	1,289	579	215	187	175	162	147	143
		マレーシア	651	311	170	137	121	110	105	96
		インドネシア	622	259	34	36	39	38	37	44
		その他	16	9	11	14	15	14	5	3
	北洋材	ロシア	878	1,695	1,174	1,218	1,393	1,335	1,338	1,439
		計	3,448	4,528	3,558	3,746	4,293	4,436	4,022	4,032
	その 他の 輸入 材	ニュージーランド	433	273	195	117	108	104	104	105
		チ リ	778	660	454	449	394	430	500	462
		その他	854	384	273	119	122	94	99	89
		計	15,913	13,305	10,136	9,472	9,968	9,978	9,418	8,996
	輸 入 製 材 用 丸 太	米 材	7,311	4,927	3,402	3,151	3,382	3,156	3,136	2,896
		南 洋 材	425	237	83	63	52	73	40	x
		北 洋 材	3,259	1,938	355	119	79	79	92	69
ニュージーランド材		1,058	744	763	427	420	394	387	347	
その他		182	179	58	124	64	61	72	x	
輸 入 製 材 用 丸 太 計		12,235	8,025	4,661	3,882	4,000	3,760	3,727	3,399	
国 産 材 製 材 用 丸 太		12,798	11,571	10,582	12,004	12,182	12,632	12,563	12,875	
合 計		40,946	32,901	25,379	25,358	26,150	26,370	25,708	25,270	

注1：輸入製材品の値は、貿易統計の結果を丸太材積に換算したものである。

2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

4：「その他の輸入材」のその他とは、中国、オーストラリア、アフリカ諸国等からの輸入である。

5：輸入製材用丸太は、「木材需給報告書」の値から半製品を差し引いたものである。

6：国産材製材用丸太は、「木材需給報告書」の値である。なお、同報告書(資料)のデータは製材工場に入荷する時点をとらえたものである。

7：計の不一致は四捨五入による。

8：調査対象数が2以下の場合には、調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。なお、全体(計)からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」を基に試算。



35 木材の主な品目別輸入量

(単位：千㎡)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	2 (20)
丸太	総数	15,949	10,654	4,757	3,450	3,652	3,266	3,278	3,019	2,301
	米材	4,786	3,453	2,980	2,622	2,832	2,586	2,574	2,372	1,852
	南洋材	3,032	1,409	554	233	210	141	157	135	82
	北洋材	5,605	4,689	447	147	155	137	141	129	62
	ニュージーランド材	1,843	922	737	422	432	378	382	355	284
	チリ材	110	106
	欧州材	70	36	30	18	17	17	17	20	14
	アフリカ材	231	12	3	5	4	4	4	4	2
	中国その他	43	9	5	1	1	1	1	1	1
その他	230	18	2	2	2	2	2	2	3	
製材品	総数	9,951	8,395	6,415	5,997	6,315	6,323	5,968	5,700	4,933
	米材	5,223	3,293	2,709	2,305	2,209	2,167	2,034	1,727	1,372
	南洋材	721	319	119	103	97	90	81	79	60
	北洋材	559	1,078	747	775	887	850	852	916	812
	ニュージーランド材	276	174	124	74	69	66	66	67	51
	チリ材	496	420	289	286	251	274	319	294	210
	欧州材	2,189	2,878	2,264	2,383	2,730	2,821	2,558	2,565	2,384
	アフリカ材	4	1	2	4	4	2	3	4	2
	中国その他	375	155	104	46	38	35	34	33	32
その他	109	77	56	19	29	18	21	15	11	
合板	総数	4,609	4,118	2,654	2,274	2,156	2,242	2,275	1,916	1,660
	米材	186	32	5	2	2	2	2	0	1
	南洋材	4,280	3,795	2,300	1,947	1,867	1,947	1,923	1,630	1,407
その他	142	291	348	325	286	292	351	285	252	

注1：合板は集成材等の積層木材を含まない。
 2：南洋材はフィリピン、インドネシア、マレーシア、バブア・ニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島、ブルネイの7か国より輸入された材。
 3：欧州材は、ロシアを除くヨーロッパ各国より輸入された材。
 4：計の不一致は四捨五入による。
 資料：財務省「貿易統計」

36 近年の丸太価格

(単位：円/㎡)

年・月	国産材				米材
	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	カラマツ中丸太	エゾ・トドマツ中丸太	米マツ丸太
	径 14~22cm 長 3.65~4.0m	径 14~22cm 長 3.65~4.0m	径 14~28cm 長 3.65~4.0m	径 20~28cm 長 3.65~4.0m	径 30cm上 長 6.0m上
H22 (2010)年	11,800	21,600	10,600	-	25,900
27 (15)	12,700	17,600	11,700	-	32,100
28 (16)	12,300	17,600	11,800	-	31,000
29 (17)	13,100	18,100	11,900	-	32,600
30 (18)	13,600	18,400	11,800	-	40,200
R1 (19)	13,500	18,100	12,400	-	25,600
2 (20)	12,700	17,200	12,500	13,100	21,000
R2年 1月	13,000	18,700	12,700	13,200	20,900
2月	13,100	18,500	12,800	13,200	21,700
3月	12,800	17,800	12,700	13,200	22,100
4月	12,300	16,800	12,700	13,200	21,900
5月	12,000	16,200	12,600	13,200	21,900
6月	11,600	15,900	12,500	13,200	20,900
7月	11,900	15,400	12,400	13,000	20,200
8月	12,800	16,000	12,400	12,900	19,900
9月	12,800	17,000	12,500	12,900	19,900
10月	13,100	17,500	12,400	12,900	20,200
11月	13,400	18,200	12,400	12,900	20,900
12月	13,400	18,300	12,400	12,900	21,300

注1：価格は、各工場における工場着購入価格。
 2：平成24(2012)年までは平成17(2005)年の調査対象都道府県別の年間の素材の消費量による加重平均値、平成25(2013)年から平成29(2017)年までは平成22(2010)年の調査対象都道府県別の年間の素材の消費量による加重平均値、平成30(2018)年からは平成28(2016)年の調査対象都道府県別の年間の素材の消費量による加重平均値である。
 3：平成25(2013)年から調査対象等の見直しを行ったことから、スギ中丸太、米マツ丸太のデータは、平成24(2012)年以前のデータとは連続しない。
 4：平成30(2018)年から調査対象等の見直しを行ったことから、平成29(2017)年以前のデータと連続しない。
 5：令和2(2020)年1月調査から、米ツガ丸太及び北洋エゾマツ丸太の把握が廃止された。
 6：令和2(2020)年1月調査から、エゾ・トドマツ中丸太の把握が開始された。
 資料：農林水産省「木材需給報告書」

37 近年の製材品価格

(単位：円/㎡、合板は円/枚)

年・月	国産材				米材			針葉樹合板 厚 1.2cm 幅 91.0cm 長 1.82m 1類
	スギ正角 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	スギ正角 (乾燥材) 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	ヒノキ正角 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	ヒノキ正角 (乾燥材) 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	米ツガ正角 (防腐処理材) 厚 10.5(※12.0)cm 幅 10.5(※12.0)cm 長 4.0m 2級	米マツ平角 厚 10.5~12cm 幅 24.0cm 長 3.65~4.0m 2級		
H22(2010)年	41,600	60,100	64,900	81,000	※ 66,100	54,300	910	
27 (15)	58,100	65,100	78,600	84,600	※ 75,300	70,400	1,090	
28 (16)	57,400	65,100	79,300	83,000	※ 75,400	69,900	1,190	
29 (17)	57,600	66,200	80,300	84,900	※ 75,600	70,200	1,270	
30 (18)	61,200	66,500	76,600	85,600	※ 82,600	66,200	1,290	
R1 (19)	61,900	66,700	76,900	85,900	※ 83,100	66,000	1,290	
2 (20)	62,400	66,700	77,600	85,500	79,600	63,400	1,250	
R2年 1月	62,700	67,700	79,000	87,000	79,900	64,700	1,310	
2月	62,700	67,700	79,000	87,000	79,800	64,700	1,310	
3月	62,700	67,500	79,000	86,800	79,800	64,700	1,300	
4月	62,700	67,400	77,400	86,600	79,800	64,700	1,280	
5月	62,500	67,300	77,400	86,100	79,700	64,600	1,280	
6月	62,500	67,300	78,600	85,900	79,600	62,800	1,260	
7月	62,200	66,700	77,200	84,400	79,500	62,200	1,220	
8月	62,200	66,700	76,700	84,400	79,500	62,100	1,220	
9月	62,200	65,100	76,700	84,000	79,300	62,100	1,200	
10月	62,200	65,500	76,700	84,300	79,300	62,300	1,200	
11月	62,200	65,600	76,700	84,400	79,300	62,400	1,210	
12月	62,200	65,600	77,200	84,500	79,300	63,300	1,220	

- 注1：価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者によっては店頭渡し販売価格。
 2：スギ正角、スギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、ヒノキ正角(乾燥材)、米ツガ正角(防腐処理材)、米マツ平角、針葉樹合板のいずれも平成24(2012)年までは平成17(2005)年における年間の推定販売量による加重平均値、平成25(2013)年から平成29(2017)年までは平成23(2011)年における年間の推定販売量による加重平均値、平成30(2018)年からは平成28(2016)年における年間の推定販売量による加重平均値である。
 3：平成25(2013)年から調査対象等の見直しを行ったことから、スギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、針葉樹合板のデータは、平成24(2012)年以前のデータと連続しない。
 4：平成30(2018)年から調査対象等の見直しを行ったことから、平成29(2017)年以前のデータと連続しない。
 5：米ツガ正角(防腐処理材)の価格は、平成22(2010)年から令和元(2019)年までは厚12.0cm幅12.0cm、令和2(2020)年は厚10.5cm幅10.5cmの規格のものであるため、連続しない。

資料：農林水産省「木材需給報告書」

38 山元立木価格、丸太価格、製材品価格、山林素地価格

(単位：円/㎡、ホワイトウッド集成管柱は円/本)

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格						全国平均 用材林地 価格 (10a 当たり)
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ 中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ヒノキ 中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	カラマツ 中丸太 径14~28cm 長3.65~4.0m	スギ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	スギ正角 (乾燥材) 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ヒノキ 正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ヒノキ 正角 (乾燥材) 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	スギ 集成管柱 厚10.5cm 幅10.5cm 長2.98~3.0m	ホワイト ウッド 集成管柱 厚10.5cm 幅10.5cm 長2.98~3.0(※3.0)m	
S30(1955)年	4,478	5,046	2,976	8,400	9,300	...	14,100	...	20,800	8,927
35 (60)	7,148	7,996	4,600	11,300	12,000	...	17,800	...	26,400	16,005
40 (65)	9,380	10,645	5,743	14,300	18,000	...	22,900	...	35,600	20,586
45 (70)	13,168	21,352	7,677	18,800	37,600	10,600	35,500	...	80,100	32,705
50 (75)	19,726	35,894	10,899	31,700	66,200	14,500	61,200	...	122,900	64,797
55 (80)	22,707	42,947	11,162	39,600	76,400	19,100	72,700	...	146,700	85,990
60 (85)	15,156	30,991	7,920	25,500	54,000	14,500	52,800	...	91,700	86,820
H2 (90)	14,595	33,607	7,528	26,600	67,800	14,300	61,700	...	120,200	83,038
7 (95)	11,730	27,607	5,966	21,700	53,500	12,900	56,800	...	100,600	75,633
12(2000)	7,794	19,297	4,168	17,200	40,300	11,000	47,400	60,400	75,700	93,700	68,659
17 (05)	3,628	11,988	2,037	12,400	25,500	9,400	41,800	55,000	67,200	80,300	...	※ 2,000	59,991
22 (10)	2,654	8,128	1,496	11,800	21,600	10,600	41,600	60,100	64,900	80,200	...	※ 2,200	50,899
27 (15)	2,833	6,284	1,531	12,700	17,600	11,700	58,100	65,100	78,600	84,600	...	※ 2,600	44,277
28 (16)	2,804	6,170	1,681	12,300	17,600	11,800	57,400	65,100	79,300	83,000	...	※ 2,700	43,478
29 (17)	2,881	6,200	1,705	13,100	18,100	11,900	57,600	66,200	80,300	84,900	...	※ 2,600	42,800
30 (18)	2,995	6,589	1,733	13,600	18,400	11,800	61,200	66,500	76,600	85,600	...	※ 2,500	42,262
R1 (19)	3,061	6,747	1,799	13,500	18,100	12,400	61,900	66,700	76,900	85,900	...	※ 2,500	41,930
2 (20)	2,900	6,358	1,814	12,700	17,200	12,500	62,400	66,700	77,600	85,500	2,000	2,000	41,372

- 注1：山元立木価格は、利用材積1㎡当たり平均価格(各年3月末現在)。
 2：丸太価格は、各工場における工場着購入価格。
 3：製材品価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売卸売業者によっては店頭渡し販売価格。令和2(2020)年の集成管柱の製材品価格は、工場出荷価格とし、集成材工場から販売先への出荷時の販売価格。
 4：ホワイトウッド集成管柱の価格は、令和元(2019)年まで長さ3.0m、令和2(2020)年から長さ2.98~3.0mの規格のものであるため、連続しない。
 5：令和2(2020)年1月調査から、スギ集成管柱の価格の把握が開始された。

資料：一般財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書」、「木材需給報告書」



39 特用林産物の生産量及び生産額

		単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	対前年 増減率(%)
食用	乾しいたけ	トン	5,236	4,091	3,516	2,631	2,734	2,544	2,635	2,414	▲ 8.4
		百万円	13,106	13,484	15,064	12,730	13,801	12,116	10,931	8,622	▲ 21.1
	生しいたけ	トン	67,224	65,186	77,079	67,869	69,100	68,961	69,754	71,071	1.9
		百万円	69,375	68,837	72,146	69,973	72,693	72,271	67,522	67,446	▲ 0.1
	なめこ	トン	24,942	24,801	27,261	22,897	22,935	22,946	22,809	23,285	2.1
		百万円	11,848	9,375	10,141	9,731	10,481	10,441	10,310	10,129	▲ 1.8
	えのきたけ	トン	109,510	114,542	140,951	131,683	133,297	135,615	140,038	128,974	▲ 7.9
		百万円	38,438	30,583	32,842	34,238	31,325	27,666	30,668	26,698	▲ 12.9
	ひらたけ	トン	8,546	4,074	2,535	3,263	3,449	3,828	4,001	3,862	▲ 3.5
		百万円	3,718	1,552	1,080	1,615	1,828	2,626	2,457	2,564	4.4
ぶなしめじ	トン	82,414	99,787	110,486	116,152	116,271	117,712	117,916	118,597	0.6	
	百万円	44,586	42,310	54,138	51,455	48,950	49,321	51,765	51,353	▲ 0.8	
まいたけ	トン	38,998	45,111	43,446	48,852	48,523	47,728	49,670	51,108	2.9	
	百万円	29,833	27,969	32,628	31,656	35,034	36,369	45,299	48,195	6.4	
くり	トン	17,488	12,370	23,500	16,300	16,500	18,700	16,500	15,700	▲ 4.8	
	百万円	6,873	5,208	8,860	8,525	13,464	13,988	9,471	11,492	21.3	
その他	百万円	58,613	59,313	49,613	43,208	44,819	43,740	46,131	42,507	▲ 7.9	
計	百万円	276,390	258,631	276,512	263,131	272,395	268,538	274,554	269,006	▲ 2.0	
非食用	生うるし	kg	1,808	1,340	1,580	1,182	1,294	1,434	1,845	1,997	8.2
		百万円	68	48	73	60	67	69	102	114	11.8
	竹材	千束	2,008	1,290	963	1,235	1,272	1,197	1,143	1,071	▲ 6.3
		百万円	1,994	1,181	790	780	772	2,637	1,895	1,836	▲ 3.1
	桐材	m ³	3,213	1,757	817	599	492	465	404	264	▲ 34.7
		百万円	261	141	66	48	39	37	32	21	▲ 34.4
木炭 (竹炭を含む)	トン	56,456	35,029	25,888	18,222	17,180	16,468	15,232	14,840	▲ 2.6	
	百万円	6,556	5,356	3,416	2,493	2,309	2,238	2,103	2,306	9.7	
その他	百万円	11,781	11,523	3,928	4,871	5,607	5,439	5,386	5,122	▲ 4.9	
計	百万円	20,660	18,249	8,273	8,252	8,794	10,420	9,518	9,399	▲ 1.3	
合計	百万円	297,050	276,880	284,785	271,383	281,189	278,958	284,072	278,405	▲ 2.0	

資料：林野庁「特用林産基礎資料」、農林水産省「作物統計」

40 木質バイオマスの利用量(燃料用)

都道府県	R1(2019)年				
	(絶乾トン)	(トン)			
	木材チップ	木質ペレット	薪	木粉(おが粉)	左記以外の木質バイオマス
全 国	9,423,386	992,163	53,976	428,502	408,767
北 海 道	635,622	11,570	4,361	6,898	39,045
青 森	167,922	2,010	664	-	780
岩 手	277,022	5,314	1,479	5,237	33,348
宮 城	282,630	141,373	3,026	2,332	2,700
秋 田	489,386	7,522	1,007	12,590	20,371
山 形	151,336	81,824	64	1,384	5,333
福 島	408,251	245,462	624	23,010	26,862
茨 城	633,069	-	48	7,689	572
栃 木	261,495	396	857	1,898	1,010
群 馬	144,102	1,540	1,186	6,411	38,493
埼 玉	72,306	1,276	-	-	4,100
千 葉	171,094	-	-	-	-
東 京	565	90	54	120	-
神 奈 川	189,646	36,630	100	10	-
新 潟	372,099	2,525	475	14,198	-
富 山	113,095	551	-	18,000	15,000
石 川	30,605	285	520	5,255	344
福 井	x	x	-	x	-
山 梨	90,596	902	508	250	1,400
長 野	22,552	1,408	1,245	60	5,346
岐 阜	254,452	3,614	2,896	4,508	5,208
静 岡	572,811	3,209	1,992	7,006	2,397
愛 知	322,905	180,644	125	37,533	1,430
三 重	241,706	3,212	120	5,310	1,066
滋 賀	21,274	-	220	3	-
京 都	22,884	133	20	5,194	1,592
大 阪	113,596	5	80	-	-
兵 庫	239,949	148	1	-	-
奈 良	58,356	178	296	4,069	601
和 歌 山	2,870	81	179	1,341	7,015
鳥 取	169,693	230	233	3,007	3,828
島 根	144,292	378	140	2,566	7,665
岡 山	187,527	8,393	1,397	4,250	16,211
広 島	136,092	432	314	104,240	1,747
山 口	289,910	15,718	150	2,000	7,000
徳 島	225,616	8	485	8,330	6,371
香 川	12,221	39	271	8,509	-
愛 媛	148,740	4,119	1,000	53,535	8,242
高 知	190,005	6,236	464	4,821	400
福 岡	58,226	163,589	-	-	18,297
佐 賀	x	-	-	x	-
長 崎	2,944	-	-	-	5,252
熊 本	178,565	1,927	686	2,005	75,265
大 分	307,988	-	-	-	26,928
宮 崎	512,135	7,287	19,880	45,758	16,613
鹿 児 島	213,848	29,800	6,809	1,175	935
沖 縄	-	x	-	-	-

注1：木質バイオマスエネルギーを利用した発電機及びボイラーを有する事業所における利用量である。

注2：調査対象者数が2事業体以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示とする秘匿措置を施している。なお、全体からの差引きにより、秘匿措置を講じた結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

資料：林野庁「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」



41 木材チップの由来別利用量(燃料用)

(単位：絶乾トン)

都道府県	R1(2019)年						
	計	間伐材・ 林地残材等	製材等残材	建設資材 廃棄物 (解体材、廃材)	輸入チップ	輸入丸太を 用いて国内 で製造	左記以外の 木材 (剪定枝等)
全 国	9,423,386	3,029,178	1,711,924	4,063,912	307,015	-	311,357
北 海 道	635,622	386,231	102,416	106,033	26	-	40,916
青 森	167,922	96,211	63,782	7,585	-	-	344
岩 手	277,022	165,904	90,172	14,707	-	-	6,239
宮 城	282,630	30,634	129,094	116,552	-	-	6,350
秋 田	489,386	133,592	198,654	156,756	-	-	384
山 形	151,336	137,759	13,390	187	-	-	-
福 島	408,251	103,485	27,931	276,835	-	-	-
茨 城	633,069	55,333	95,280	463,851	-	-	18,605
栃 木	261,495	33,152	47,349	175,407	-	-	5,587
群 馬	144,102	65,465	35,050	37,353	-	-	6,234
埼 玉	72,306	-	-	72,306	-	-	-
千 葉	171,094	6,501	8,630	152,879	-	-	3,084
東 京	565	-	565	-	-	-	-
神 奈 川	189,646	3,781	113	185,752	-	-	-
新 潟	372,099	62,090	15,600	274,654	-	-	19,755
富 山	113,095	33,903	18,376	56,767	-	-	4,049
石 川	30,605	4,097	21,670	538	-	-	4,300
福 井	x	x	x	x	127,386	-	3,200
山 梨	90,596	29,433	4,837	-	-	-	56,326
長 野	22,552	17,141	5,411	-	-	-	-
岐 阜	254,452	53,607	24,223	151,027	9,245	-	16,350
静 岡	572,811	26,477	13,152	507,424	-	-	25,758
愛 知	322,905	37,872	14,742	107,950	160,047	-	2,294
三 重	241,706	97,110	32,521	112,075	-	-	-
滋 賀	21,274	1,099	-	16,773	-	-	3,402
京 都	22,884	907	21,977	-	-	-	-
大 阪	113,596	21,000	1,080	73,506	-	-	18,010
兵 庫	239,949	80,936	1,617	135,827	10,311	-	11,258
奈 良	58,356	17,406	23,145	17,373	-	-	432
和 歌 山	2,870	377	2,366	122	-	-	5
鳥 取	169,693	77,993	69,315	21,219	-	-	1,166
島 根	144,292	93,019	34,273	16,900	-	-	100
岡 山	187,527	40,796	56,416	90,315	-	-	-
広 島	136,092	30,134	79,140	26,818	-	-	-
山 口	289,910	46,830	15,219	182,773	-	-	45,088
徳 島	225,616	59,150	43,803	122,663	-	-	-
香 川	12,221	-	106	12,115	-	-	-
愛 媛	148,740	32,978	61,997	53,765	-	-	-
高 知	190,005	114,830	29,295	44,880	-	-	1,000
福 岡	58,226	8,254	5,089	44,883	-	-	-
佐 賀	x	x	x	x	-	-	-
長 崎	2,944	651	2,293	-	-	-	-
熊 本	178,565	72,148	72,378	32,446	-	-	1,593
大 分	307,988	224,546	40,276	33,638	-	-	9,528
宮 崎	512,135	259,741	140,009	112,385	-	-	-
鹿 児 島	213,848	200,331	13,517	-	-	-	-
沖 縄	-	-	-	-	-	-	-

注1：木質バイオマスエネルギーを利用した発電機及びボイラーを有する事業所における利用量である。

注2：調査対象者数が2事業体以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示とする秘匿措置を施している。なお、全体からの差引きにより、秘匿措置を講じた結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

資料：林野庁「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」

木材産業等

42 製材、合板、集成材、CLT及び木材チップの工場数及び生産量等

		単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
製材	工場数	工場	11,692	9,011	6,569	5,206	4,934	4,814	4,582	4,382
	素材入荷量	千m ³	26,526	20,540	15,762	16,182	16,590	16,802	16,672	16,637
	製材品出荷量	千m ³	17,231	12,825	9,415	9,231	9,293	9,457	9,202	9,032
合板	工場数	工場	354	271	192	185	183	181	180	176
	素材入荷量	千m ³	5,401	4,636	3,811	4,218	4,638	5,004	5,287	5,448
	普通合板生産量	千m ³	3,218	3,212	2,645	2,756	3,063	3,287	3,298	3,337
	特殊合板生産量	千m ³	1,534	1,037	647	524	642	623	580	562
集成材	工場数	工場	281	259	182	157	150	165	165	162
	生産量	千m ³	892	1,512	1,455	1,485	1,549	1,971	1,923	1,920
CLT	工場数	工場	-	-	-	-	-	7	9	9
	生産量	千m ³	-	-	-	-	-	14	14	13
木材チップ	工場数	工場	2,657	2,040	1,577	1,424	1,393	1,364	1,303	1,250
	生産量	千トン (千m ³)	-	6,005	5,407	5,745	5,826	5,954	5,706	5,266
			10,851	-	-	-	-	-	-	-

注1：製材工場数、合板工場数、CLT工場数、木材チップ工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。

2：製材工場数、製材用素材入荷量、製材品出荷量は、製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場の数値。

3：合板等用素材の入荷量は、平成29年調査から、素材需要量(製材工場、合板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量)のうち「合板用」を新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更した。このため、平成28(2016)年以前の数値とは比較できない。

4：集成材工場数は、平成28(2016)年までは3月時点の数値。平成29(2017)年からは、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。

5：集成材生産量は、平成29(2017)年値から、出典資料を変更した。このため、平成28(2016)年以前の数値とは比較できない。

6：木材チップ工場数は、平成28(2016)年までは「木材チップ専門工場」に集成材工場、LVL工場、CLT工場との兼営工場が含まれていたため、平成28(2016)年以前の数値とは比較できない。

7：木材チップ生産量は、燃料用チップを除く。

資料：製材、合板、CLT、木材チップは、農林水産省「木材需給報告書」。集成材は、日本集成材工業協同組合調べ(平成12(2000)～平成28(2016)年)、農林水産省「木材需給報告書」(平成29(2017)～令和元(2019)年)。

43 ラミナ消費量

(単位：千m³)

	計			集成材用			CLT用		
	合計	国産材	輸入材	小計	国産材	輸入材	小計	国産材	輸入材
H29(2017)年	2,775	928	1,847	2,755	908	1,847	20	20	0
30(18)	2,711	1,071	1,640	2,691	1,051	1,640	20	20	0
R1(19)	2,706	x	x	2,686	x	x	20	x	x

注：調査対象数が2以下の場合には、調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。なお、全体(計)からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

資料：農林水産省「木材需給報告書」

44 プレカット工場数とシェア

	H13年 (2001)	18 (06)	23 (11)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
プレカット工場数	757	664	659	...	730
木造軸組構法住宅のうち プレカットのシェア(%)	55	81	88	91	92	92	93	93

資料：プレカット工場数は農林水産省「木材流通構造調査報告書」、プレカットのシェアは一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ。



45 木材流通事業者数及び取扱量

(単位：千㎡)

		H13年 (2001)	18 (06)	23 (11)	28 (16)	30 (18)	
事業所数	計	11,145	9,946	8,869	7,900	...	
	木材市売市場等	567	516	465	413	...	
	うち、木材市売市場	523	378	...	
	うち、木材センター	44	35	...	
	木材販売業者	10,578	9,430	8,404	7,487	...	
木材流通業者計	素材入荷量	計	25,777	25,681	27,554	25,703	27,518
		国産材	13,622	14,433	16,283	20,208	21,143
		輸入材	12,155	11,248	11,272	5,495	6,373
	製材品出荷量	計	16,654	22,358	25,310	19,315	19,099
		国産材	9,649	9,650	10,463	9,636	10,758
		輸入材(国内生産)	7,005	21,707	14,667	9,679	8,340
木材市売市場・木材センター	素材入荷量	計	8,907	9,039	9,557	11,183	11,713
		国産材	8,432	8,390	9,110	10,998	11,656
		輸入材	476	650	448	185	55
	製材品出荷量	計	4,396	4,288	4,049	2,687	2,366
		国産材	3,309	2,829	2,664	1,939	1,911
		輸入材(国内生産)	1,087	1,460	1,385	748	454
木材販売業者	素材入荷量	計	16,869	16,641	17,997	14,520	15,805
		国産材	5,190	6,043	7,173	9,210	9,487
		輸入材	11,679	10,598	10,824	5,310	6,318
	製材品出荷量	計	12,258	18,069	21,081	16,628	16,733
		国産材	6,340	6,822	7,799	7,697	8,847
		輸入材(国内生産)	5,918	11,248	13,282	8,931	7,886

注1：木材市売市場とは、市売売買と称される売買方式によって木材の売買を行わせる事業所をいう。
 2：木材センターとは、2つ以上の売手を同一の場所に集め、買手を対象として相対取引によって木材の売買を行わせる事業所をいう。
 3：木材販売業者とは、木材を購入して販売する事業所をいう。
 4：製材品出荷量のうち、平成13(2001)年については「外材」から「外材のうち、輸入製材品」を除いた値を用いた。
 資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

46 新設住宅着工戸数及び床面積

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	2 (20)	対前年 増減率(%)	
新設住宅着工戸数(戸)	総数	1,229,843	1,236,175	813,126	909,299	967,237	964,641	942,370	905,123	815,340	▲ 9.9	
	資金別	民間資金	752,205	1,044,946	690,736	806,400	861,669	866,552	842,197	809,933	734,987	▲ 9.3
		公的資金	477,638	191,229	122,390	102,899	105,568	98,089	100,173	95,190	80,353	▲ 15.6
	利用関係別	持家	451,522	353,267	305,221	283,366	292,287	284,283	283,235	288,738	261,088	▲ 9.6
		分譲住宅	345,291	369,067	201,888	241,201	250,532	255,191	255,263	267,696	240,268	▲ 10.2
		賃貸住宅	421,332	504,294	298,014	378,718	418,543	419,397	396,404	342,289	306,753	▲ 10.4
	構造別	給与住宅	11,698	9,547	8,003	6,014	5,875	5,770	7,468	6,400	7,231	13.0
		木造率(%)	(45.2)	(43.9)	(56.6)	(55.5)	(56.5)	(56.5)	(57.2)	(57.8)	(57.6)	▲ 0.3
		木造	555,814	542,848	460,134	504,318	546,336	545,366	539,394	523,319	469,295	▲ 10.3
	非木造	674,029	693,327	352,992	404,981	420,901	419,275	402,976	381,804	346,045	▲ 9.4	
総数	119,879	106,593	72,910	75,059	78,183	77,515	75,309	74,876	66,454	▲ 11.2		
新設住宅着工床面積(千㎡)	総数	65,116	88,446	61,641	65,654	68,498	68,592	66,523	66,346	59,315	▲ 10.6	
	資金別	民間資金	54,763	18,147	11,268	9,405	9,686	8,923	8,786	8,530	7,139	▲ 16.3
		公的資金	63,009	47,320	38,533	34,825	35,662	34,328	33,967	34,388	30,803	▲ 10.4
	利用関係別	分譲住宅	33,520	34,995	19,023	21,502	22,451	23,246	22,619	23,840	21,116	▲ 11.4
		賃貸住宅	22,526	23,616	14,849	18,334	19,639	19,549	18,245	16,228	14,101	▲ 13.1
		給与住宅	823	662	505	397	432	392	477	420	434	3.4
	構造別	木造率(%)	(53.8)	(53.0)	(64.8)	(64.3)	(65.2)	(65.0)	(66.6)	(67.2)	(67.7)	0.5
		木造	64,531	56,494	47,278	48,279	50,992	50,346	50,144	50,298	44,991	▲ 10.6
		非木造	55,347	50,100	25,632	26,780	27,191	27,168	25,165	24,578	21,463	▲ 12.7
	総数	97.5	86.2	89.7	82.5	80.8	80.4	79.9	82.7	81.5	▲ 1.5	
1戸当たり床面積(㎡)	総数	86.6	84.6	89.2	81.4	79.5	79.2	79.0	81.9	80.7	▲ 1.5	
	資金別	民間資金	114.7	94.9	92.1	91.4	91.8	91.0	87.7	89.6	88.8	▲ 0.9
		公的資金	139.5	133.9	126.2	122.9	122.0	119.9	119.1	119.1	118.0	▲ 0.9
	利用関係別	分譲住宅	97.1	94.8	94.2	89.1	89.6	91.1	88.6	89.1	87.9	▲ 1.3
		賃貸住宅	53.5	46.8	49.8	48.4	46.9	46.6	46.0	47.4	46.0	▲ 3.0
		給与住宅	70.4	69.3	63.1	66.0	73.5	67.9	63.9	65.6	60.0	▲ 8.5
	構造別	木造	116.1	104.1	102.7	95.7	93.3	92.3	93.0	96.1	95.9	▲ 0.3
		非木造	82.1	72.3	72.6	66.1	64.6	64.8	62.4	64.4	62.0	▲ 3.7

注1：資金別で公的資金と民間資金を併用した住宅は、公的資金を含めて計上した。
 2：対前年増減率のうち、木造率における数値は、前年との差である。
 3：計の不一致は四捨五入による。
 資料：国土交通省「住宅着工統計」

47 工法別新設木造住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)	2 (20)	対前年 増減率(%)
在来工法(木造軸組構法)住宅	(80.3) 446,359	(78.5) 426,299	(76.0) 349,865	(74.4) 375,357	(74.8) 408,632	(75.5) 412,004	(76.0) 409,873	(76.7) 401,583	(77.9) 365,464	▲ 9.0
ツーバイフォー工法住宅	(14.2) 79,114	(17.7) 95,824	(20.9) 96,104	(22.7) 114,617	(22.6) 123,713	(22.0) 120,059	(21.7) 116,988	(20.9) 109,625	(19.8) 93,009	▲ 15.2
木質プレハブ工法住宅	(5.5) 30,341	(3.8) 20,725	(3.1) 14,165	(2.8) 14,344	(2.6) 13,991	(2.4) 13,303	(2.3) 12,533	(2.3) 12,111	(2.3) 10,822	▲ 10.6
合 計	555,814	542,848	460,134	504,318	546,336	545,366	539,394	523,319	469,295	▲ 10.3

注1：()内は、新設木造住宅着工戸数に占める割合。

2：在来工法(木造軸組構法)住宅の戸数は、国土交通省「住宅着工統計」の新設木造住宅戸数の合計から、ツーバイフォー工法及び木質プレハブ工法による新設住宅の戸数の合計を差し引いて算出した。

3：計の不一致は四捨五入による。

資料：国土交通省「住宅着工統計」



海外の森林

48 世界各国の森林面積

国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)
オーストリア	8,252	3,899	1,672	47.3	アングラ	124,670	66,607	807	53.4
ベルギー	3,028	689	438	22.8	カメルーン	47,271	20,340	61	43.0
チェコ	7,721	2,677	2,539	34.7	コンゴ民主共和国	226,705	126,155	58	55.6
デンマーク	4,199	628	412	15.0	エチオピア	111,972	17,069	1,203	15.2
エストニア	4,347	2,438	216	56.1	マダガスカル	58,180	12,430	312	21.4
フィンランド	30,391	22,409	7,368	73.7	マリ	122,019	13,296	568	10.9
フランス	54,756	17,253	2,434	31.5	モザンビーク	78,638	36,744	74	46.7
ドイツ	34,886	11,419	5,710	32.7	ナイジェリア	91,077	21,627	216	23.7
ギリシャ	12,890	3,902	139	30.3	南アフリカ	121,309	17,050	3,144	14.1
ハンガリー	9,053	2,053	789	22.7	スーダン	186,665	18,360	130	9.8
アイスランド	10,025	51	40	0.5	タンザニア	88,580	45,745	553	51.6
アイルランド	6,889	782	674	11.4	ザンビア	74,339	44,814	52	60.3
イタリア	29,414	9,566	645	32.5	ジンバブエ	38,685	17,445	108	45.1
ラトビア	6,218	3,411	465	54.9	アフリカ計	2,989,130	636,639	11,390	21.3
リトアニア	6,265	2,201	611	35.1	中国	942,470	219,978	84,696	23.3
ルクセンブルグ	243	89	30	36.5	インド	297,319	72,160	13,269	24.3
オランダ	3,369	370	332	11.0	インドネシア	187,752	92,133	4,526	49.1
ノルウェー	30,413	12,180	108	40.0	イラン	162,876	10,752	1,001	6.6
ポーランド	30,619	9,483	...	31.0	イスラエル	2,164	140	85	6.5
ポルトガル	9,161	3,312	2,256	36.2	日本	36,456	24,935	10,184	68.4
ロシア	1,637,687	815,312	18,880	49.8	マレーシア	32,855	19,114	1,697	58.2
スロバキア	4,808	1,926	749	40.1	ミャンマー	65,308	28,544	427	43.7
スロベニア	2,014	1,238	46	61.5	韓国	9,745	6,287	2,263	64.5
スペイン	49,966	18,572	2,590	37.2	タイ	51,089	19,873	3,537	38.9
スウェーデン	40,731	27,980	13,912	68.7	トルコ	76,963	22,220	717	28.9
スイス	3,952	1,269	149	32.1	ベトナム	31,007	14,643	4,349	47.2
英国	24,193	3,190	2,846	13.2	アジア計	3,108,538	622,687	135,230	20.0
ヨーロッパ計	2,213,357	1,017,461	75,193	46.0	アルゼンチン	273,669	28,573	1,436	10.4
カナダ	909,351	346,928	18,163	38.2	ボリビア	108,330	50,834	63	46.9
メキシコ	194,395	65,692	100	33.8	ブラジル	835,814	496,620	11,224	59.4
米国	914,742	309,795	27,521	33.9	チリ	74,353	18,211	3,185	24.5
北央アメリカ計	2,132,756	752,710	47,027	35.3	コロンビア	110,950	59,142	427	53.3
オーストラリア	768,230	134,005	2,390	17.4	エクアドル	24,836	12,498	111	50.3
ニュージーランド	26,331	9,893	2,084	37.6	ペルー	128,000	72,330	1,088	56.5
オセアニア計	848,655	185,248	4,812	21.8	ベネズエラ	88,205	46,231	1,358	52.4
					南アメリカ計	1,746,111	844,186	20,245	48.3
					世界計	13,038,547	4,058,931	293,895	31.1

注1：OECD加盟国(2021年3月時点)、及び、森林面積が1,000万ha以上かつ人口が1,000万人以上の国を対象。

2：「…」はデータ無し。

3：土地面積は内水面積を除く。

資料：FAO「世界森林資源評価2020」

49 世界の木材生産量と木材貿易量

① 木材生産量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千m³)

地域	丸太	製材		合板等	木質パルプ		
		産業用材	燃料用材				
世界計	3,969,368	2,024,660	1,944,708	488,916	357,651	190,351	
大陸別	アフリカ	784,386	78,317	706,069	11,993	3,017	2,411
	北米	604,297	531,696	72,601	124,961	45,932	68,877
	中南米	513,555	245,703	267,851	31,146	19,289	29,232
	アジア	1,165,381	452,779	712,602	139,289	196,321	38,322
	ヨーロッパ	814,950	639,347	175,603	172,151	90,052	48,573
オセアニア	86,799	76,818	9,981	9,377	3,042	2,936	

② 木材輸出量

地域	丸太	製材		合板等	木質パルプ		
		産業用材	燃料用材				
世界計	145,825	138,063	7,762	156,305	87,716	68,419	
大陸別	アフリカ	7,361	6,227	1,134	3,197	521	1,147
	北米	15,795	15,348	447	34,326	10,973	17,526
	中南米	4,953	4,866	87	7,362	5,705	22,982
	アジア	3,164	3,107	57	8,033	26,234	7,410
	ヨーロッパ	79,180	73,182	5,998	101,090	43,635	18,385
オセアニア	35,373	35,333	40	2,298	647	968	

③ 木材輸入量

地域	丸太	製材		合板等	木質パルプ		
		産業用材	燃料用材				
世界計	150,068	144,365	5,703	149,171	88,861	67,341	
大陸別	アフリカ	2,139	966	1,173	8,423	4,013	1,058
	北米	6,755	6,519	235	26,876	18,108	5,698
	中南米	342	342	0	3,544	3,693	1,806
	アジア	80,754	80,599	154	65,270	23,527	39,759
	ヨーロッパ	60,059	55,921	4,138	44,354	38,351	18,682
オセアニア	20	18	1	703	1,169	338	

注1：2019年の数値。

2：合板等には、合板、パーティクルボード、OSB及び繊維板を含む。

3：計の不一致は四捨五入による。

資料：FAO「FAOSTAT」(2021年3月1日現在有効なもの)

50 産業用材の主な生産・輸出入国 (単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米国	387,702	ニュージーランド	22,666	中国	63,781
ロシア	203,194	ロシア	15,857	オーストリア	10,505
中国	180,237	チェコ	14,146	スウェーデン	8,791
カナダ	143,994	ドイツ	8,558	ドイツ	7,271
ブラジル	142,989	米国	7,801	フィンランド	6,234
世界計	2,024,660	世界計	138,063	世界計	144,365

注1：2019年の数値。

2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

3：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2021年3月1日現在有効なもの)

51 製材の主な生産・輸出入国 (単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
中国	90,252	ロシア	33,362	中国	38,114
米国	82,472	カナダ	28,312	米国	25,323
ロシア	44,466	スウェーデン	12,633	英国	7,037
カナダ	42,489	ドイツ	9,546	日本	5,708
ドイツ	24,573	フィンランド	8,970	ドイツ	5,198
世界計	488,916	世界計	156,305	世界計	149,171

注1：2019年の数値。

2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

3：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2021年3月1日現在有効なもの)

52 合板等の主な生産・輸出入国 (単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
中国	142,622	中国	10,570	米国	15,337
米国	34,353	カナダ	9,063	ドイツ	5,667
ロシア	17,561	ロシア	6,380	日本	3,643
ドイツ	12,487	ドイツ	5,987	英国	3,597
インド	12,286	タイ	5,456	ポーランド	3,168
世界計	357,651	世界計	87,716	世界計	88,861

注1：2019年の数値。

2：合板等には、合板、パーティクルボード、OSB及び繊維板を含む。

3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

4：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2021年3月1日現在有効なもの)

53 木質パルプの主な生産・輸出入国 (単位：千トン)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米国	52,062	ブラジル	15,501	中国	26,226
ブラジル	20,277	カナダ	9,676	米国	5,300
カナダ	16,815	米国	7,850	ドイツ	4,480
中国	14,480	インドネシア	5,385	イタリア	3,590
スウェーデン	12,074	チリ	4,719	韓国	2,232
世界計	190,351	世界計	68,419	世界計	67,341

注1：2019年の数値。

2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

3：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2021年3月1日現在有効なもの)



54 JICAを通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト

地域	国名	プロジェクト名等	活動の内容
アジア	ラオス	持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト 2014年9月～2021年9月	持続可能な森林管理及びREDD+に必要な関連情報やデータを包括的に運用管理するシステムの構築と人材育成を実施。
	ベトナム	持続的自然資源管理プロジェクト 2015年8月～2021年1月	持続的自然資源管理に必要な国家能力を強化するため、政策、持続的森林管理・REDD+、生物多様性の活動を実施。
	カンボジア	持続的自然資源管理能力強化プロジェクト 2020年10月～2023年10月	持続的自然資源管理に必要な国家能力を強化するため、中央における政策支援及び地方対象省における持続的森林管理計画作成支援を実施。
	東ティモール	持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクトフェーズⅡ 2016年6月～2021年8月	中山間地の貧困農民を対象とした住民参加型の土地利用計画と天然資源管理を实践。
	インド	ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト 2017年3月～2022年3月	円借款事業「ウッタラカンド州森林資源管理事業」と連携して、山地災害を防止するため治山技術を確立・普及。
	ミャンマー	持続可能な自然資源管理能力向上支援プロジェクト 2018年6月～2023年6月	森林減少や環境悪化が深刻化する同国において、森林保全、インレー湖統合流域管理、生物多様性保全の基盤整備の強化を図る。
大洋州	ソロモン諸島	ソロモン国における持続的森林資源管理能力強化プロジェクト 2017年9月～2022年9月	森林研究省の持続的森林資源管理の促進に係る能力強化。
中南米	ホンジュラス	ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト 2016年1月～2021年6月	ラ・ウニオン生物回廊における管理計画の策定、パイロットコミュニティにおける持続的利用・保全計画の実施。これらによる生物回廊管理モデルの確立。
	ベルー	森林保全及びREDD+メカニズム能力強化プロジェクト 2016年3月～2021年6月	森林保全、REDD+の推進のための国家森林モニタリングシステムの強化など中央政府の能力強化を実施するとともに、地方政府におけるシステムの活用支援を実施。
欧州	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	持続的な森林管理を通じた、生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)能力向上プロジェクト 2017年12月～2022年12月	GIS情報システム整備や森林管理計画強化、治山技術導入などを通じ、森林生態系の有する多様な機能を活用した防災・減災(Eco-DRR)のモデル開発を行い、同国の災害リスクの軽減を指向。
中東	イラン	カルーン河上流域における参加型森林・草地管理能力強化プロジェクト 2018年6月～2023年6月	住民参加型の森林草地管理の実施や治山技術の導入による政府関係者の流域管理に関する能力強化。
アフリカ	ケニア	持続的森林管理のための能力開発プロジェクト 2016年6月～2021年6月	政策支援、パイロット事業、REDD+準備支援、林木育種研究、地域協力に係る協力を行うことにより、中央及び郡政府の持続的森林管理のための能力を強化。
	マラウイ	ザラニヤマ森林保護区の持続的な保全管理プロジェクト 2016年8月～2021年8月	薪炭生産を主な原因として森林減少が加速している、首都リロングエの水源林であるザラニヤマ森林保護区での森林保全。
	カメルーン	持続的森林エコシステム管理能力強化プロジェクト 2019年1月～2024年1月	温室効果ガス排出量削減活動の促進のため、REDD+等の主要な政策・計画の策定や実施、排出削減シナリオの策定等の実施を通じて、政府及び関係機関の能力を強化。
	モザンビーク	持続可能な森林管理及びREDD+プロジェクト 2019年3月～2024年3月	REDD+及び持続可能な森林管理を促進するため、国家森林モニタリングシステムの運用、州政府の森林管理計画プロセスの推進等を通じて、国・州政府等の能力を強化。
	コンゴ民主共和国	国家森林モニタリングシステム運用・REDD+パイロットプロジェクト 2019年4月～2024年3月	持続可能な森林管理のため、国家森林モニタリングシステムの運用やクウィル州におけるREDD+パイロット事業の実施等を通じて、国・州政府等の能力を強化。

注：令和2(2020)年12月末日現在実施中のプロジェクト。
資料：林野庁業務資料

55 森林・林業分野の有償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	インド	シッキム州生物多様性保全・森林管理計画	2010/3/29	シッキム州に位置する国立公園及び野生生物保護区の管理能力強化、森林局の活動基盤の強化・整備などを実施するもの。
		タミル・ナド州生物多様性保全・植林計画	2011/2/17	インド南部タミル・ナド州において、繁殖力の強い外来種の除去や在来種の植栽等の生物多様性保全活動、植林活動及び実施機関の組織強化等を行うもの。
		ラジャスタン州植林・生物多様性保全計画（フェーズ2）	2011/6/6	インド北西部ラジャスタン州において、植林活動及び生物多様性保全活動を実施するもの。
		西ベンガル州森林・生物多様性保全計画	2012/3/29	西ベンガル州において 1) 植林、2) 人間と野生動物の接触被害の防止や保護区の生息環境改善、3) 地域開発・生計向上活動及び 4) 実施機関の組織強化等を実施するもの。
		ウッタラカンド州森林資源管理計画	2014/1/25	ウッタラカンド州において、植林活動、地域住民の生計向上活動、防災・災害対策の実施を通じ、植林面積の増大、住民組織の育成、雇用創出を図るもの。
		ナガランド州森林管理計画	2017/3/31	ナガランド州において、移動焼畑耕作地における森林の回復を行い、生計向上手段を提供するもの。
		オディシャ州森林セクター開発計画（フェーズ2）	2017/3/31	オディシャ州（オリッサ州）において、持続的な森林管理、生物多様性保全活動及びコミュニティ開発支援を実施するもの。
		ヒマーチャル・プラデシュ州森林生態系保全・生計改善計画	2018/3/29	ヒマーチャル・プラデシュ州において、持続的な森林生態系管理及び生物多様性保全、地域住民の生活基盤強化支援、活動実施体制・能力強化を実施するもの。
		トリプラ州持続的水源林管理計画	2018/10/29	トリプラ州において、持続的森林管理、水土保全活動、生計向上活動を実施するもの。
		メガラヤ州における住民参加型森林管理及び生計改善計画	2020/3/27	メガラヤ州において持続的森林管理、生計向上活動、及び組織体制強化を実施するもの。
	グジャラート州生態系再生計画	2020/3/27	グジャラート州において、マングローブ林及び防風林の造成、草地、森林、湿地の再生、人間と動物の軋轢管理体制の強化、当局の実施体制強化を実施するもの。	
フィリピン	森林管理計画	2011/9/27	ルソン島及びパナイ島において、住民参加型の森林管理及び生計改善活動（組織化された住民が、苗木栽培、植林、森林の維持管理、小規模ビジネス（農産物や林産物売買、キノコ栽培、林産物加工）等を行うもの）を実施することにより、森林の再生及び地域住民の生計向上を図るもの。	
ベトナム	保全林造林・持続的管理計画	2012/3/30	中部沿岸部の11地方省において、流域保全林の造林、林業インフラの建設及び地方省行政機関と地域住民の森林管理能力強化、住民の生計向上支援等を実施するもの。	
中東	トルコ	チョルフ川流域保全計画	2011/6/22	トルコ北東部に位置するチョルフ川流域において、住民参加型手法を取り入れた土壌保全、劣化森林の植生回復及び自然災害防止のための事業を支援することにより、流域住民の生計向上を図るもの。
アフリカ	チュニジア	総合植林計画（Ⅱ）	2008/3/28	チュニジアの5県（ベジャ県、ジェンドゥーバ県、ケフ県、シリアナ県、ザグアン県）において、植林、森林火災対策、地域住民の生計支援等の包括的な森林保全活動を行うことにより、森林再生やその持続的管理、同地域における自然環境改善を図るもの。

注：令和2（2020）年12月末日時点で、計画を実施中の案件。

資料：林野庁業務資料

56 森林・林業分野の無償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	インドネシア	森林保全計画	2010/3/18	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
中南米	ボリビア	森林保全計画	2010/7/5	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
アフリカ	コートジボアール	森林保全計画	2010/4/19	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。

注：令和2（2020）年12月末日時点で、計画を実施中の案件。

資料：林野庁業務資料



国有林野事業

57 国有林野事業における主要事業量

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
収穫量 (千m ³)	総数	4,910	5,744	7,763	8,228	8,277	8,654	8,589	8,526
	立木販売	4,212	3,796	4,044	3,223	3,301	3,459	3,520	3,396
	丸太販売	698	1,948	3,720	5,004	4,976	5,195	5,069	5,130
更新面積 (ha)	総数	34,036	11,830	9,984	8,513	9,197	10,373	10,367	12,848
	人工造林	4,592	2,992	5,372	5,745	5,944	8,143	8,614	10,616
	天然更新	29,444	8,838	4,612	2,768	3,253	2,230	1,753	2,232
林道 (km)	新設	99	138	97	175	147	163	129	131
	改良	866	653	958	354	353	185	117	151
治山 (百万円)	国有林治山	48,054	20,618	18,470	17,141	18,369	16,391	16,889	21,096
	災害復旧	12,473	24,317	6,858	18,140	13,669	4,995	11,556	6,164

注1：収穫量は、立木材積であり、内部振替並びに分取造林及び分取育林林収分を含む。
 2：丸太販売は、丸太を生産した時点で年度区分した。
 3：更新面積には、森林災害復旧造林事業費による実行分を含む。
 4：人工造林には、新植のほか改植、人工下種を含む。
 5：災害復旧は、国有林野内直轄施設災害復旧事業、国有林野内直轄治山災害関連緊急事業及び国有林野内直轄特殊地下壕対策災害関連事業の額である。
 6：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

58 保護林区分別の箇所数及び面積

保護林区分	箇所数	面積(万ha)	特徴	代表的な保護林(都道府県)
森林生態系保護地域	31	70.1	我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理	知床(北海道)、白神山地(青森県、秋田県)、小笠原(東京都)、屋久島(鹿児島県)、奄美群島(鹿児島県)
生物群集保護林	96	23.7	地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理	木曾(長野県、岐阜県)、剣山(徳島県)、普賢岳(長崎県)
希少個体群保護林	534	4.0	希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理	狩場山雪田植生(北海道)、千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ(栃木県)、高野山コウヤマキ(和歌山県)
合計	661	97.8		

注：令和2(2020)年4月1日時点の数値である。
 資料：農林水産省「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

59 レクリエーションの森の整備状況及び利用者数

区分	箇所数	面積(千ha)	利用者数(百万人)									代表的なレクリエーションの森(都道府県)
			H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)		
自然休養林	83	95	27	27	29	12	10	11	11	11	高尾山(東京)、赤沢(長野)、剣山(徳島)、屋久島(鹿児島)	
自然観察教育林	92	24	19	17	13	7	6	16	16	14	白神山地・暗門の滝(青森)、フナ平(福島)、金華山(岐阜)	
風景林	170	87	48	42	27	61	73	83	84	74	えりも(北海道)、芦ノ湖(神奈川)、嵐山(京都)	
森林スポーツ林	28	3	2	1	1	1	1	3	3	3	御池(福島)、滝越(長野)、扇ノ仙(鳥取)	
野外スポーツ地域	167	50	40	34	32	23	23	18	15	17	天狗山(北海道)、裏磐梯デコ平(福島)、向坂山(宮崎)	
風致探勝林	80	14	21	21	13	6	8	8	8	8	温身平(山形)、駒ヶ岳(長野)、虹ノ松原(佐賀)	
合計	620	273	157	143	116	110	122	140	137	127		

注1：箇所数及び面積は令和2(2020)年4月1日現在の数値であり、利用者数は各年度の参考値である。
 2：計の不一致は四捨五入による。

資料：農林水産省「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

60 ゆうゆう 遊々の森等の箇所数及び面積

		H22年度 (2010)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	R1 (19)
遊々の森	箇所数	172	175	173	172	168	165	160	154	153	154
	面積(ha)	7,219	7,382	7,344	7,232	7,073	7,047	7,006	6,569	6,351	6,340
ふれあいの森	箇所数	137	137	140	143	140	137	137	131	126	131
	面積(ha)	4,325	4,152	4,334	4,229	4,257	4,343	4,406	4,320	4,254	4,290
木の文化を支える森	箇所数	22	22	25	23	24	24	25	25	24	24
	面積(ha)	565	565	1,617	1,610	1,625	1,625	1,638	1,638	1,635	1,637

注：箇所数及び面積は、各年度未現在の国と実施主体が協定を締結している箇所の数値である。
 資料：林野庁業務資料

その他

61 林業等に対する金融機関別の貸付残高

(単位：十億円、%)

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	30 (18)	対前年 増減率(%)
総計	合計	4,659 (100)	3,132 (100)	3,210 (100)	2,975 (100)	2,950 (100)	3,014 (100)	3,066 (100)	1.7
	一般金融機関	2,931 (63)	1,849 (59)	2,080 (65)	1,997 (67)	1,983 (67)	2,053 (68)	2,118 (69)	3.2
	系統金融機関	394 (8)	234 (7)	223 (7)	172 (6)	180 (6)	188 (6)	185 (6)	▲ 1.6
	政策金融機関	1,334 (29)	1,049 (33)	907 (28)	807 (27)	787 (27)	773 (26)	763 (25)	▲ 1.3
林業	小計	1,262 (100)	1,036 (100)	1,513 (100)	1,450 (100)	1,479 (100)	1,562 (100)	1,620 (100)	3.7
	一般金融機関	193 (15)	144 (14)	698 (46)	779 (54)	817 (55)	902 (58)	972 (60)	7.8
	系統金融機関	93 (7)	48 (5)	68 (4)	36 (2)	47 (3)	62 (4)	66 (4)	6.5
	政策金融機関	976 (77)	844 (81)	747 (49)	636 (44)	615 (42)	598 (38)	582 (36)	▲ 2.7
木材・木製品製造業	小計	3,396 (100)	2,096 (100)	1,697 (100)	1,527 (100)	1,471 (100)	1,453 (100)	1,447 (100)	▲ 0.4
	一般金融機関	2,738 (81)	1,705 (81)	1,382 (81)	1,218 (80)	1,166 (79)	1,151 (79)	1,147 (79)	▲ 0.3
	系統金融機関	301 (9)	186 (9)	155 (9)	136 (9)	133 (9)	126 (9)	119 (8)	▲ 5.6
	政策金融機関	357 (11)	205 (10)	160 (9)	173 (11)	172 (12)	176 (12)	181 (13)	2.8

注1：各年度末現在の数値。

2：系統金融機関とは、商工組合中央金庫、農林中央金庫である。

3：政策金融機関とは、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本政策投資銀行である。

4：()内は、合計、小計に対する割合。

5：平成21(2009)年度以降の一般金融機関及び系統金融機関の林業欄の数字は、農・林業合計の貸付残高である。

6：平成17(2005)年度以降の政策金融機関には、日本政策投資銀行の貸付残高を含まない。

7：計の不一致は四捨五入による。

資料：一般金融機関は「日本銀行統計」(日本銀行調査統計局)、商工組合中央金庫、農林中央金庫は各金庫の資料、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫は各公庫の資料、日本政策投資銀行は同銀行の資料による。

